

43 14

21

野村景造編纂

主權論

東京圖書館

新門 七四函

部 九架

類 號

Seal script characters, likely a collector's or owner's seal, arranged in a grid.

Large, expressive cursive calligraphy characters, possibly reading '子安' (Shi'an).

Small square seal impression, likely a personal or studio seal.

Small square seal impression, likely a personal or studio seal.

茶子

明治十三年二月

悦生堂主人



例言

一 本編ハ曾テ東京日報ニ論出セシ主
權論主權辨妄等ニ據リ之ヲ詳略改
刪シテ事理ヲ簡明ニシ以テ有志ノ
便覽ニ供スルモノナリ
一 本編ハ新聞紙ヨリ拔萃シテ之ヲ一
編ノ文章ト爲シタルモノナレハ章
句ノ間或ハ接續セサルカ如ク見ユ
ル所アルヘシト雖モ其主意ニ至テ
ハ明暢貫道毫モ支離滅裂スル所ナ
シト信ス讀者全篇ヲ通覽セハ意ヲ

得ルニ於テハ最モ容易ナルモノナ

明治十五年九月

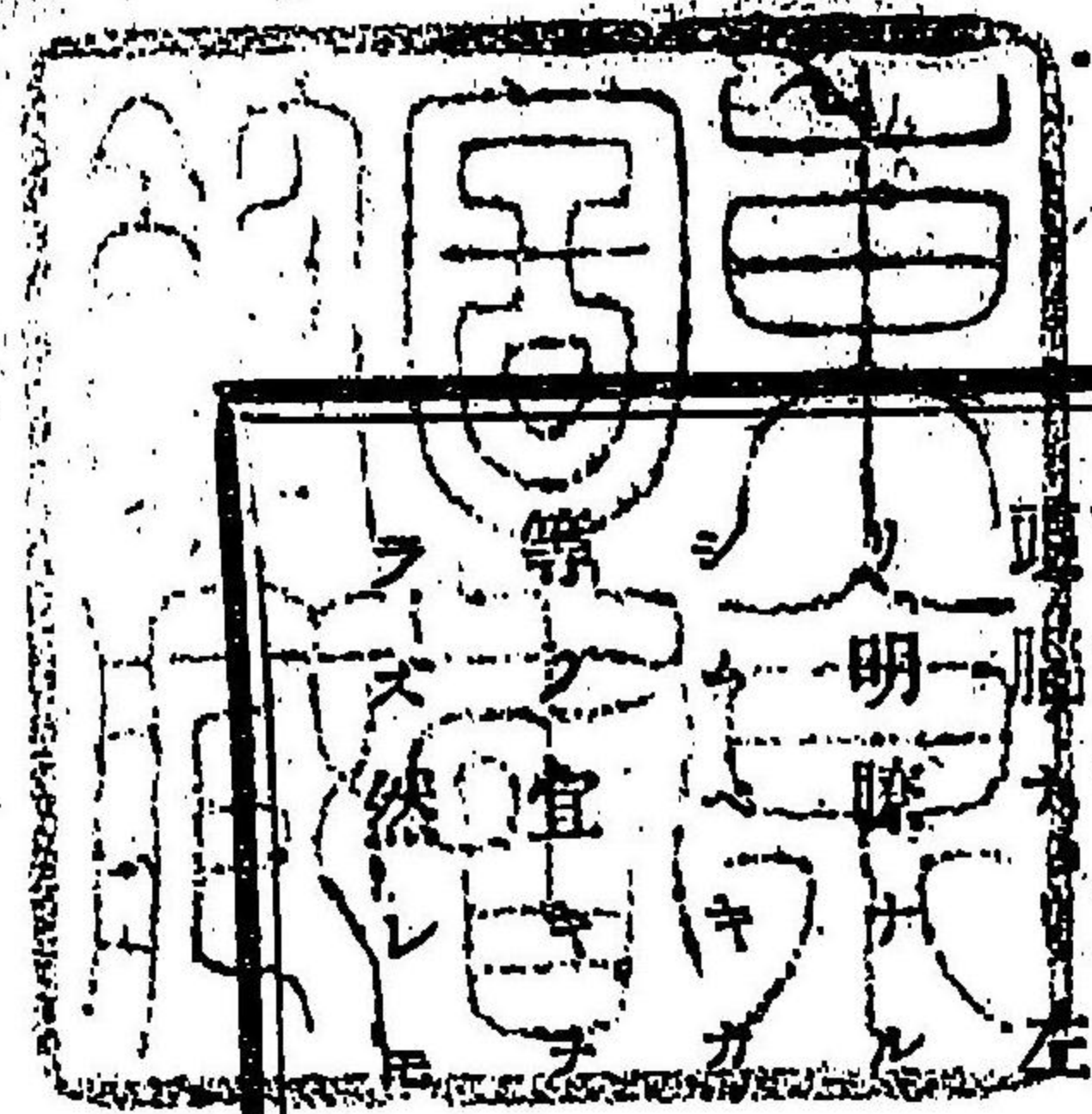
編者識

特刊
21

○主權論

野村景造 編纂

主權トハ何ツヤ即チ國家ノ大權ニ最上權ナリ至高權ナリ不
 羈獨立ノ國權ナリ此權ハ外ニ對シテハ一國ノ獨立ヲ表シ國家
 ノ尊榮ヲ保ツノ大權トナリ内ニ向テハ立法行政司法諸部局ノ
 樞軸トナルノ大權ナレバ其國ノ最上地ニ位シテ其尊嚴ヲ保
 ザルベカラズ其唯一ヲ失フベカラザルモノナリ元來國家ハ有
 機體ニシテ恰モ一大身體ハ如キモハナリト云ハハ必ラズヤ其
 全身ヲ支配スルハ頭腦ナカラザルベカラズ主權ハ則チ實ニ其
 頭腦ニシテ左レハ國家ニ其主權ナカルベカラズト云フハ固ヨ
 義ナリ而シテ主權即チ大權ハ之ヲ誰ガ手ニ掌握セ
 ノ一義ニ至リテハ國々ニ由テ其國體、民情、風俗、時勢
 同シセザル所アレバ一概ニ之ヲ論定シ得ベキニア
 其氣運ノ漸ク變シ民心亦將ニ漸クナラントスルノ



場合ニ當リテハ無事ニ倦ミ變更チ好ムノ者流ガ其機ニ投シ其
 隙ニ乘シテ新說異論ヲ吐キ社會ヲ攪亂シ民心ヲ變壞セント試
 ルコトナキニ非ザレバ苟モ論者ヲラシモノハ時論ニ誤ラレズ偏
 見ニ泥マズ之ヲ國體ニ問ヒ之ヲ理義ニ照シ國家ノ尊榮安全ヲ
 保ツノ正道ヲ表章センコトヲ願ハシケレ
 我邦ニ於テ主權ナル語ノ譯書又ハ論說等ノ問ニ現ハレシヤ已
 ニ久シト雖モ其立憲政體論ノ盛ンナルニ及ビテ益々緊要ナル
 一語トハナリヌ特ニ明治廿三年ヲ期シテ國會ヲ開カセラル、
 旨 勅ラセ給ヘルニ至リテハ國會開設ノ後主權ノ所在ヲ何レ
 ニカ定ムベキ乎ノ一議ハ從テ志士論者ノ熱心ニ研究スル所ト
 ハナレリ寔ニ主權ノ所在ヲ定ムルノ一事ハ國體ノ上ニ就キテ
 モ實際ノ上ニ於テモ緊切ノ關係アルコトニ其立憲帝政クラシ
 ムルモ或ハ君主國ヲシテ民主國ノ實アラシムルモ將ク國家ヲ
 シテ活潑ハ運動ヲ得セシムルモ得ザラシムルモ主トシテ主權

ノ所在ヲ定ムルハ如何ニ係ハル儀ナレバ苟モ志士論者ヲラシ
 モハ之ヲ今日ニ研究講明スルコト極メテ其本分ヲ得タリト云フ
 ベシ然レモ其氣運ニシテ既ニ此ニ至ルヤ我輩宜ク進ンデ日本
 固有ノ國體ニ基キ旁ラ立憲帝國ノ通議ニ照シ以テ國家ノ光榮
 泰平ヲ無窮ニ保ツノ正道ヲ表章セザルベカラズ
 古ヘヨリ世運民心將ニ一變セントスルガ如キ時ニ在テハ種々
 ノ新說ヲ作スモノアリテ爲ニ一時ノ民心ヲ攪亂シテ救フベカ
 ラザルノ禍毒ヲ流シタルハ讀者ノ能ク知ラル、所ナラズヤ特
 ニ彼ノ佛國ニ於テハ第十八世紀ノ末ニ當テルニシテ主權ハ
 民ニ在テ君ニ在ズ民意相合スレバ以テ法ヲ作ルベシ以テ法ヲ
 破ルベシ以テ君ヲ奉ズベシ以テ君ヲ廢スベシ顛覆ハ天啓ナリ
 衆ニ違フハ悖逆ナリト説キ他日王室顛覆ノ際遂ニ其論ヲ實行
 スルニ至ラシメシガ如キハ其最モ若ルシキモノナリ勿論日本
 ノ今日ハ當時ノ佛國タルノ跡モ無ク又我國民中ニハルニシ

ノ如キ異説ヲ公言スルモノモナケレバ其事ハ則チ佛國ノ歴史
ナリト看過ノ可ナルベシトハ云ヘ凡我邦トテモ將ニ上下二千
五百有餘年ノ政体ヲ一變シテ新タニ代議政体ニ移ラントスル
ノ氣運ニ際會スレバ民心ハ專ラ舊ヲ厭ヒテ新タニ就キ自カラ
理論ニ傾クノ狀アルヲ免カレザルノ時ナリ加之國民ノ多キガ
中ニハ隨分世ヲ憤リ俗ヲ矯ルニ偏シテ改良ヨリハ寧ロ變革ヲ
望ムモノナシトモ云ヒ難カルベシ且ハ政論百出シテ殆ンド際
涯ナキノ時ニ臨ミ歐洲ニテサヘモ未ダ一定ノ論ヲ得ルニ難キ
主權所在論ニ向ハントスルニ當リテハ荷モ一歩タリトモ其正
鵠ヲ失フテ僻見ニ墮ルコトアラシクハ識ラズ知ラズ國家ヲ誤ル
ノ邪説タルニ至ルコトナシトハ保シ難カルベシ
左ハ云ヘ政理漸ク明カナルノ今代トナリテハ設ヒ主權國民ニ
在ルノ説ヲ爲スモノタリトモ其國民トハ何者ヲ指スヤト問ハ
バマサカニ法制モナシ秩序モナシ全國ノ民衆チ一把一束シテ

國民トナシ其國民ヲ以テ國家ノ大權ヲ掌握スルモノトナスノ
妄迷論者モナカルベケレバ其主權國民ニ在リト云フモノアル
トモ只國民ノ代議ヲ表セル議院ヲシテ主權ヲ掌握セシメント
欲スルニ過ギザルベシ良シヤ一歩ヲ進ンテ更ニ人民ノ權域ヲ
擴張スルニ熱心ナル論者アリトモ議院ノ專横ヲ拒ガンガ爲ニ
ハ其議員ノ進退責罰ヲ人民ノ合議ニ任サント欲スルノ類ニ外
ナラザルベシ故ニ我邦ニ於テハ如何ニ理論ニ偏向スル徒タリ
トモ第十八世紀ノ末佛ノ國民議會ガ布令セル佛國ノ大權ハ獨
リ其民衆ノ手ニ在リ政府設ヒ何等ノ法制ヲ用フルトモ決シテ
億兆ヲ服從セシムルヲ能ハズ只々其民衆ノ能ク憲法ヲ制定
シ變更スルノ特權アリト云フガ如キ荒誕無稽ノ妄念ヲ抱クモ
ノハ決シテコレナカルベシトハ雖モ其主權國民ニ在リト云ヘ
ル説ヲ唱フルモノハ蓋シ我邦ノ論者ニ少ナカラザル所ニシテ
或ハ論者ノ如キ己ニ公然之ヲ言ヘリ惟ルニ是等ノ論者ガ其説

チ爲スハ立憲君主國ニシテ英國ノ如キ自由國アルヲ見テ主權
國民ニ在ルノ説ヲ爲ストモ妨ゲナシト思ヘルコモアラシク
シテ然ラシハ是レ大ナル謬見ナリ君主國ト民主國ト間ニ判
然タル一大分界アルハ他ナシ實ニ其主權即チ大權ノ一ハ帝王
ニ在テ一ハ國民ニ在ルニ由レリ若シ君主國ニシテ主權國民ニ
在リト言ハバ君主國民民主國奚グ擇ハンヤ故ニ我輩ハ此説ヲ爲
スニ當リ先ヅ其一大分界ノ在ル所ヲ明カニシテ是等論者ノ爲
ニ其津ヲ示サザルベカラズ是レ實ニ立憲帝政ノ本體ヲ表章ス
ルニ欲クベカラザルノ事ナルガ故ナリ
今ヤ我邦ニ於テ主權國民ニ在ルノ説ヲ唱フルモノハ其標準ヲ那
處ニ取レルカト願レバ蓋シ英國ヲ以テ其根據トスル者ノ如シ
是レ其一ヲ知リテ未ダ其二ヲ知ラザルハ論ナリ如何ニモ英民
ノ政事上ニ享有スルノ權理ハ至大至盛ナリ爰ニ現今下院ノ保
有スル權理ノ大要ヲ舉レバ第一徵租課稅ノ法案ハ先ヅ之ヲ議

シ若クハ之ヲ起草スルノ權アリ第二行政官吏ノ公罪ヲ告發シ
テ彈劾ヲ求ムルノ權アリ第三凡百ノ法律制度ヲ討論議定スル
ノ權アリ第四諸法案等調査ノ爲メ必要ナルキハ諸官吏並ニ人
民ヲ參院セシムルノ權アリ第五其成規定則及特權ニ違背スル
議員ヲ處分スルノ權アリ第六其議長ヲ議員中ヨリ撰舉シ皇帝
ノ制可ヲ請フノ權アリ第七其議員ハ院中ニ於テ演述シタル論
說ノ爲ニ法廷ニ告訴セラル、コナシ第八議員ハ會期中及前後
若干十日間ハ民刑訴訟ノ爲ニ法廷ニ呼出サル、コナシ又陪審
ニ列坐セザルモ妨ゲナシ等ノ事ニアルガ如シ以上開列スルガ
如クナレバ英國議院ノ權力ハ實ニ至大至盛ナルモノニシテ帝
王ハ至ク其權ヲ失ヘルガ如クナリト雖モ其間君權ト民權トハ
判然相犯スベカラザル所アリテ毫モ主權君ニ在ルハ理ニ妨ゲ
ナキハ則チ實ニ君主國タル由縁ナリ其故ハ讀者ノ知ラル、所
ナルベシトハ雖モ英國ノ制法上ニ明記セル所ニ據テ帝王ノ權

勢ヲ算フレハ英皇ハ其國教ノ貫主ニシテ海陸軍兵馬ハ大元帥
タリ其宣戰講和條約訂盟ノ事ヨリ官吏ハ黜陟任免爵位ハ授與
罪人ノ赦國會議員ハ召集及ヒ解散諸法度ハ批准ニ至ル迄皆
ナ其大權内ノ事ニ係リ特ニ帝王ハ法律ヲ以テ檢束セラル
ナシ責任ノ宰相ヲシテ其事ニ當ラシメ自カラ其責ニ任シ給ハ
ザルモノナリ然レハ帝王ノ權勢ハ實ニ最大至高ニシテ臣民ノ
自由權ハ是ガ爲ニ壓倒セラル、ノ患ナキニ非ザルガ如クナリ
ト雖モ其實前ニ開列セル議院ノ權力ト相歩シ相行ハレテ更ニ
君權ヲ以テ民權ヲ壓スルノ跡ナク民權ヲ以テ君權ヲ犯スノ事
ナキハ則チ所謂皇極維建チ民極維作ルノ事ニシテ寔ニ立憲帝
政ノ本体ヲ得タルモノト云フベキ歟
尙ホ之ヲ敷衍センニハ例ハ英皇ハ陸海軍兵馬ノ大元帥ニシテ
宣戰講和ノ大權ヲ有シ給フガ故ニ漫リニ兵馬ヲ他國ニ起シテ
侵掠篡奪ヲ恣ニシ國民ノ性命財產ヲ私欲ノ犠牲ニ供シ給フモ

妨ゲナキカト問ヘハ其決シテ然ラザルハ宣戰講和ノ事ハ帝王
ノ大權ナリト雖モ其費用ニ至リテハ之ヲ國庫ニ求メ國庫ノ出
納ハ實ニ下院特有ノ全權ナルガ故ニ下院ニシテ其軍費ヲ可決
セザルモハ英皇モ已チ得ズシテ其事ヲ思ヒ絶セ給フノ外ナカ
ルベシ又例ハ其官吏ヲ任免シ負責ノ大臣ヲシテ其事ニ當ラシ
ムルハ帝王ノ大權ナリト雖モ其大臣ニシテ國民ノ望ニ適ハザ
レハ内閣ト議員ノ間自ラ相容ル、能ハザルヲ以テ設ヒ帝王ガ
其人ヲ寵セラル、トモ勢ヒ興望アル人物ヲ以テ之ニ代ラシメ
ザルチ得ザルベシ然レモ論者若シ英國議院ノ權力此ノ如ク盛
ナルチ以テ其主權ハ君ニ在ズシテ民ニ在リト思惟スルニ至リ
テハ是レ實ニ大ナル謬見ナリト云ハザルベカラス君主國ニ在
リテハ君主ハ御意ニ背キタル議決ヲ實行セズト云ヘルヲ君主
國ノ關節ナリ故ニ上ニ述ルガ如ク議院ハ議決又議及ハ實アリ
ト雖モ帝王ニハ不認可權アリ解散權アリ若シ議院ハ議決ニシ

御意ニ適ハザルヲ不認可シ給フモ自在ナリ解散ヲ命
ジ給フモ隨意ナリ其大權ヲ行ハセラルコ何ノ憚カラセラル
一ノアルベキヤ最モ不認可權ハ現時ニ至テハ曾テ實行シ給フ
一ナナシト云フモ是レ君主ハ民ノ心ヲ以テ大御心トナシ給フ
ガ故ニシテ君主ニ其大權ナシト云フニハアラズ而シテ解散ノ
一事ハ則チ君主ガ民ノ心ヲ知ラセ給フニ欠クベカラザルノ要
義ナリ何トナレハ議院一回ノ議決ノミニテハ未ダ全國ノ民心
果シテ此ノ如キカトハ知ルベカラズ其改選ヲ行フニ及シテ之
ヲ知ルベキガ故ナリ故ニ英國ニテモ議院ノ議決如何ニ由テハ
帝王ヨリ解散ヲ命ジテ改選セシメ愈々民意ノ程ヲモ知ラセテ
然後ニ内閣ヲ改更シ其議ヲ採可シ給フヲ屢々ナルニ非ズヤ是
則チ君主國ニ在テハ君主ノ御意ニ背キタル議決ヲ實行セズト
云ヘルノ實ニシテ英國亦決シテ主權君ニ在ルモノタルニ外ナ
ラザルナリ然ルヲ論者ハ如ク英國ニシテ主權民ニ在リト云ハ

い英國ニ於テハ宣戰講和條約訂盟官吏ノ任免ハ諸置キ君主ノ
廢立ニ至ルマデ凡テ之ヲ人民ニ委テザルベカラズ而シテ其然
ラザルハ則チ主權君ニ在ルノ證ナラズシテ何ゾヤ
英國ハ宇内無比ノ自由國ナリト雖モ其主權君ニ在ルノ昭々
ルヤ此ノ如シ是レ我輩ノ臆説ニ係ルモノニアラズ即チ先輩ノ
夙ニ論定スル所アリホルマエルハ王權ハ盛ンナラザルハ英國
ハ如キハアラスト雖モ英皇ノ主權ヲ掌握スルノ理絶テ他各國
ハ王ト異ナルヲナシ臣民ノ自由權ヲ有スル英國ハ如キハアラ
スト雖モ決シテ王權ヲ犯スナク却テ之ヲ輔ケテ益々堅固ナ
ラシムト云ヒブルンナユリハ國家ノ元首タルモノハ其各部局
及ビ其各民ニ對シテ最大ノ威權ヲ執リ至高ノ地位ヲ占ム故ニ
英國ハ如キモ國皇ヲ主權ノ掌握者トハ定ムルナリト云ヘリ英
國猶ホ然リ況ンヤ我邦ノ如キハ皇統一系ニテ二千五百有餘年
ヲ經テ一變更ナキ宇内無比ノ國体ニアレハ猶更以テ一國ノ大

權ハ我 天皇陛下ノ掌握シ給ヘル所ナリト表シ奉ラザルベカ
 ラズ然ルニ世上動モスレハ單純ナル理論ヲ執テ主權民ニ在リ
 ト唱道スルモノナキニ非ザルハ實ニ憚リ多キ事ナラズヤ抑モ
 主權トハ前ニ説クガ如ク國家ノ大權ニシテ實ニ最上至高ノ權
 柄ナレハ苟モ人民ニ其權ヲ掌握セシムルト云フ以上ハ如何ナ
 ル事タリトモ人民ノ自由ニ任セザルベカラズ果シテ然ラハ恐
 レ多クモ 我天皇陛下ヲ何地ニ置キ參ラスベキヤ論者ガ主權
 民ニ在リト云フモ斯ル惡意アリテノトニハアラス只理論ノ一
 方ニ偏倚シテ主權ノ所在ヲ定ムルハ國體、民情、風俗、時勢等ニ從
 ハザルベカラザルノ理ヲ察セザルガ故ナルベシ
 夫レ然リ君主國ニ在テハ主權君ニ在リト云フノ理ハ變ズベカ
 エザルノ通義ナリト雖モ君主ハ國家ノ主權ヲ掌握シ給ヘルカ
 故ニ其意思ヲ以テ恣マ、ニ大權ヲ用ヒサセラル、ニ妨ゲナシ
 ト思惟スルハ是亦誤謬ナリ國家ハ恰モ人身ニ頭首四肢ノ序次

アルガ如ク法制秩序ノ具備シテ相合セル人衆ヲ以テ組織セラ
 ルハモノナリ而シテ國權ハ則チ其國家ニ屬スルモノナルニモ
 係ハラズ君主國ニ於テハ主權君ニ在リト云フ所以ハモハハ君
 主國ハ共和國ト異ナリ君主ハ其大權ヲ以テ國家諸部局ノ上ニ
 位シテ其政ヲ行ハセラル、ガ故ナリ然レモ君主ノ思シ召スマ
 ニ々々大權ヲ用ヒ給フ自由ナリトスレバ前ニ所謂國家ハ法
 制秩序ノ具備シテ相合セル人衆ヲ以テ組織セラル、モノトス
 ルノ道理ニ相適ハザルガ故ニ君主タリトモ必ラズ一定ノ憲法
 ヲ奉シテ他ノ諸部局ノ參預ヲ受ケ以テ其大權ヲ行ハセ給ハザ
 ルベカラズ是レ則チ立憲帝政ノ君權獨裁ニ異ナル所ノ一六分
 界ナリ
 我輩ガ立憲帝政ハ大道ヲ表章セン、欲スルハ他ナシ君主國ニ
 在テハ君主實ニ其主權ヲ掌握シ給ヘルナレハ國家ハ大權凡テ
 君主ノ手ニ歸シ參ラセン、當然ノ義ナリト雖モ國家ノ治安康

福ヲ保維シ給フハ帝王ノ御職掌ニテ座セハ民ハ心ヲ以テ大御
心トナサセラレシト是ナリ故ニ議院ノ決議ニシテ若シ敷慮ニ
協ハセラレザルコトアリテ此事ハ如何アラン一國民心ノ程ヲ
モ知ラセタジト思召サスル場合アリタランニハ止テ得ズ議院
ヲ解散シ改選ヲ命ジ給フモ可ナリ是時ニ當リテ若シ新議院ノ
議決ハ敷慮ノ如クアリタランニハ別條ナケレモ尙ホ舊議院ノ
議決ノ如クナラハ其時コソハ偕ハ全國ノ人心ハ斯クアリツル
カト敷慮ヲ移サセテ其議決ヲ採可シ給フコトモアルハ是レ決
シテ敷慮ヲ枉テ人民ニ從ハセラル、ニハアラズ民ノ心ヲ以テ
大御心トナサセ給ヘルガ爲ニシテ即チ敷慮ヲ移サセラル、モ
ノナリ帝王ハ固ヨリ政治ノ責ニ任シ給ハザレバ設ヒ如何ナル
事ノアリタレバトテ法ヲ以テ問ヒ奉ルベキニアラズ民ノ心
ヲ以テ大御心トナサセ給フハ帝王ノ一大德義ナリ故ニ立憲帝
政國ニ最モ貴重スベキモシテ帝王ノ德義ナリ此ノ德義アリテ

コソ君權ハ至高至大ナリト雖モ以テ民權ヲ壓スルコトナク又民
權ノ君權ヲ犯スコトモナカルベシ故ニ曰ク立憲帝政國ニ在テハ
主權君ニ在ルハ是レ不變ノ通義ナリ其大權ヲ行ハセラル、ニ
ハ必ラズ民ノ心ヲ以テ大御心トナシ給ハント第一ノ要義ナリ
論者或ハ云ク主權ハ法律ヲ制定スルニ在ルヲ以テ主權ハ人民
ニモアラズ君主ニモアラズ君主人民ノ間ニ存スルモノ之ヲ立
憲君主國ト云フ主權ハ君主代議院ノ二者相集リテ其全ヲ得ル
是レ立憲君主國ノ本色ナリ主權ノ本体現時世界ノ政体ハ君主
國民主國ノ二政体ノ外ニ尙ホ英國ノ如ク君民共治ノ政体アリ
英國ハ君主國ニモアラズ又民主國ニモアラズ其國會ヲ以テ主
權ヲ掌握スル者トナスヲ以テナリ政府ノ種類君主ノ行政權司
法權ヲ專裁シ宣戰媾和權議院解散權不認可權特赦權ヲ有スル
ハ特權ナリ主權ニ非ザルナリ政体ノ誤解主權ハ君權ニ異ナリ

全國家ヲ掌握スルヲ主權ト云ヒ其一國主長ノ主權ヲ君權ト云
ヒ主權ハ常ニ君權ノ上ニ立ツ君權ハ憲法區域内ニ於テ施行ス
ルニハ決シテ他人之ニ干涉セズ主權ハ全國家ノ權力ニ依ルニ
非ザレバ何人モ之ヲ左右スルヲ得ズ(主權ト君權トノ別ト歐洲
諸學士ノ論說ヲ引證シ巧ニ辨ズル所アレヒ其大要ハ主權ハ君
主ニ在ラズシテ國會ニ在リト云フニ外ナラザルガ如シ
抑モ主權トハ一國ヲ統治スルノ權ナレバ法律ヲ制定スルノ權
ハ固ヨリ主權ノ一ニ居ルト雖モ未タ法律制定ノ權ノミヲ以テ
國家ノ主權ナリト云フ可カラズ法律ヲ說解スルニ當リテハ法
律制定權ヲ以テ主權ノ所在ト認ムルコトモ左ルコトナガラ國家ノ
大權ヲ論ズルニ當リテハ主權ハ豈ニ獨リ立法權ノミナランヤ
若シ主權ハ立法權ノミニ在リトセバ司法行政ハ立法ニ隸屬セ
ル可カラズ立法ト別レテ獨立シ得ベキニ非ズ是レ三大權ノ
所在ヲ以テ主權ノ所在ト認メザル可カラザルハ實據ナリ此三

大權ハ立憲帝國ニ於テハ君主ハ大權ニ屬スル者ナリ但シ此
ノ三大權中ノ立法權ニ就テハ其內政ニ關ル分メケハ國民ハ議
事聽カセテ法律ヲ制定シ給フナリ良シヤ姑ク一步ヲ讓リ主權
ハ即チ法律制定權ナリト看做スモ立憲帝國ニ於テハ聖天
子特定ノ法律アリ例ヘバ甲乙ノ同盟國交戦ノ時ニ當リ局外中
立チ國內ニ布告スルガ如キ即チ是ナリ況ヤ和親貿易航海等ノ
條約ヲ特定シ給ヒ國民ハ之ヲ遵奉スルニ於テチヤ以テ其法律
制定權ト雖モ盡ク國會ノ有トスベカラザルヲ證スルヲ得ベシ
已ニ主權ハ法律制定權ノミニアラズ又法律制定權ヲ舉テ盡ク
國會ノ有スル所ニモアラズト知ル以上ハ主權ハ果シテ何處ニ
在ル乎之ヲ聖天子ノ掌握ニ在リト云ハズシテ將タ誰ノ掌握
ニ在リト云ハズシテ欲スル乎畢竟英國ノ政体ヲ論シテ君主國
モ民主國ニモ非ズト思フ者ハ其主權ハ法律制定權ニシテ國會
ニ在リト思ヒシニ原由スルモノナレバ今ソノ然ラザルハ實チ

悟ラハ論者ノ論據ハ自カラ瓦解チ免カレザル者ナリ殊ニ英國ハ君主民主ノ外ニ君民共治ハ体ヲ建ルナリ云フニ至リテハ吾曹尤モ其僻見ヲ恠ムナリ如是ノ説ハ英國ノ學士輩ガ其政体中ニハ帝王政治ト貴族政治ト共和政治トヲ折衷シテ其良ヲ採レリト誇張セシテ無上ノ引證トセリト雖モ其説ヤ成跡ニ就テ之ガ見解ヲ下セシ理論ニシテ英國ノ君民初ヨリ之ヲ期シテ故造セシニ非ザルハ其國ノ歴史ニ於テ蔽フベカラザルノ實ナリ且ヤ君民共治トハ如何ナル政体ナルカ未ダ斯ル政体ノ英國ニ行ハレシト聽モ及バズ英國ノ政体ハ「コンスタブル」ニシテモナルキ「立憲帝政」ト稱スルモノナリ彼ノ君民共治トハ此ハ立憲帝政有限帝政ノ義譯文字ニ外ナラザル可シ之外ニシテ別ニ君民共治ノ政体ナシ而シテ英國ノ露國清國等ニ異ナル所ハ其無限帝政ト有限帝政トノ差別ニシテ帝政國タルニ至リテハ則チ一ナリ立憲有限

故チ以テ併セテ帝政國ニ非ズトハ決シテ言フ可カラザルナリ夫ノ主權ハ政体ニ由リテ其所在ヲ殊ニスルコト論者モ之ヲ知レルニ非スヤ政体ヲ細別スレバ數種ニ分ルハ大別ハ帝王政治貴族政治共和政治ノ三種ニ外ナラズ其ノ帝王政治ニ無限專制ナレバ主權ハ君主ニ在リ有限專制ナレバ主權ソノ君主ニアラザルノミカ帝政外ノ政体ナリトハ英國ナホ且ツ之ヲ言ハズ况ヤ我國體ニ於テチヤ「夫レ然リ一國ノ主權ハ已ニ法律制定權ノミニ在ラズ而シテ立憲帝政ハ即チ帝政國ノ範圍中ニ在リト云フチ覺ラハ其君主ノ大權即チ我聖天子ノ明治廿三年以降ニ於テモ掌握シ給フベキ大權ハ彼ノ論者ノ所謂特權ナリヤ將タ主權ナリヤハ之ヲ識別スルニ甚ダ容易ナリ彼レ論者ガ君主ノ行政權司法權宣戰媾和權議院解散權不認可權特赦權等ヲ以テ是レ主權ニ非ズ特權ナリト公言シテ懼ラザル所以ヲモノハ君主ニ此權アルハ憲法

於君權ニ附與セラルル權ナリ共和政治ノ大統領ニ此權
アルモ同一ナリト思惟セルガ故ナリト知ラル大統領ニ如是ノ
權アルハ洵ニ特權ナルニ相違ナシト雖モ君主モ亦然リト言フ
可カラズ其故如何トナレバ共和政治ニテハ斯々ノ權ヲ大統領
ニ附與スル事ト先ヅ憲法ニ取極メ置キ然ル後ニ其憲法ニ據リ
テ之ヲ附與スル義ナレバ其權ハ何様ニ威力アルモ之ヲ與ヘタ
ルハ即チ憲法ニシテ大統領ハ之ヲ憲法ニ得タルナリ君主ハ之
ニ同シカラズ殊ニ我々聖天子ノ主權ハ天地ノ開キ初シ時ヨリ
之ヲ掌握シ給ヒ曾テ之ヲ臣民ヨリ得給ヒツルコトハアラザルニ
付キ欽定憲法ヲ以テ聖天子固有主權中ノ一部分タル内政立
法權ノ半ヲ制與シ給フニ止マリ日本全國ノ主權ハ固ヨリ聖
天子ノ掌握シ給フ所ナレバ内外ノ萬機ヲ知シ召ス勿論ノ義
ナリ然レモ内政ニ關シテハ民望ニ從テ政ヲ施サント思シ召ス
ニ付キ國會議院ヲ開キテ内政法律ヲ議定スルノ權ノミチ臣民

割與スベシト宣ハスナリト心得ベシ此時ニ臨ミ其欽定憲法
ニ聖天子ノ大權ハ云々ナリト明記アラシクハ是レ聖天子固
有ノ主權ヲ成文憲法ニ表シ給フ迄ニテ別ニ憲法ヲ以テ新ニ臣
民ヨリ得サセ給フ譯ニハ非ザルナリ左レハ我國ノ如キ帝政國
ニ於テハ大權固ヨリ聖天子ノ掌握ニ在リ憲法ヲ以テ新ニ之
ヲ得サセ給フニ非ラス故ニ主權ナリ特權ニ非ザルナリ議院ノ
權ハ憲法ヲ以テ新ニ聖天子ヨリ賜ハリタル權ナレバ特權ナ
リ主權ニ非ザルナリ然ルチ若シ強テ
聖天子ノ大權ハ憲法ヲ以テ得サセ給フノ特權ナリト云ハハ恐
レ多クモ一旦之ヲ聖天子ヨリ奪取リ奉リテ憲法ヲ制定シ其
後更テ憲法ニ據テ之ヲ聖天子ニ與ヘ參ラセザル可カラズ彼
ノ論者ニシテ若シ果シテ其意ナリト云ハハ實ニ大義ヲ紊亂ス
ルノ甚キ言語同斷ナリト言ハシノミ是レ敢テ我國ノミニアラ
ズ彼レ論者ガ祖國ノ如クニ尊崇セル英國ニテモ矢張り同様ノ

義ナリ論者ノハノール國ノ事ヲ論シテ主權ト君權ニ別テ立
 テ全國家ノ主權ハ一國主長ノ君權ノ上ニ立ツト云ヘル説チ屈
 竟ノ證左トスルニ至リテハ頗ル其牽強ヲ怪マザルヲ得ズ蓋シ
 歐洲學士ガ此説ヲ作爲セシハハノール國ハ當時日耳曼同盟
 ノ一王國ニテアリケレバハノール國王ノ主權ハ日耳曼同盟
 主權ノ下ニ立タザル可ラズト云ヒシモハ欺然ルヲ國依ノ異同
 チモ問ハズシテ之ヲ我獨立帝國ニ證左セント欲スルハ不倫ノ
 甚シキモノヨ非ズヤ畢竟スルニ彼レ論者ハ主權ハ國會ニ在リ
 君權ハ憲法ノ賜ナリト云フ一ノ單純ナル理論ヲ鐵壁トスルガ
 如シト雖モ其實チ駁ニスレバ其胸中ニハ民約說ノ先入主トナ
 リテ憲法制定ノ賜ト云ヘバ民約主義ニ據リテ先ヅ帝王ヲ廢シ
 君臣ノ別ヲ止メ社會人倫ノ秩序ヲ破壞シ畢リテ一應混沌未分
 ノ大古開闢ノ有様ニ立戻リ其處ニテ人民相集リテ憲法ヲ取極
 メ主權ヲ國會ニ收攬シ夫ヨリ憲法ニ據リテ君主ヲ立テ其特權

ハ附與スルハ結構チ主旨トスルガ故ナルベシ是レ其胸中ニテ
 成シ得ベキ想像ナレバ太ダ容易ナルベシト雖モ之ヲ實際ニ行
 ハントスルハ其難キヤ天ニ昇ルヨリモ難シ其難キハ尙且ツ之
 ナ忍ブベキモ爲メニ人倫ヲ紊亂シ社會ヲ破壞シ我金甌無缺ハ
 帝國ヲシテ亂離救フベカラザルノ禍害ニ陷ラシムルヲ奈何セ
 シヤ
 又彼ノ論者ハ曰ク不羈獨立ノ主權君主ノ一身ニ住居セバ君主
 ハ憲法ノ爲ニ支配セラル、ノ理ハ萬々アルマシキ道理ナルニ
 立憲國ノ君主ハ始終憲法ノ爲ニ支配セラル是レ不羈獨立ニア
 ラザルノ證據ナリ只不羈獨立ト云フテ可ナル者ハ憲法ノ許シ
 タル範圍内ニ其權力ヲ使用スルノ間ノミト云ヘリ是レ主權ハ
 憲法ニ在リト云フノ説ナリ然レモ聖天子ノ大權ハ新ニ憲法
 ノ賜フ所ナルベキカ將タ固有帝權ヲ憲法ニ確載シ給フコナル
 カト云フチ問ハハ自カラ分明ナルベシ

故ニ君主ハ自カラ其固有主權ヲ限リテ之ヲ憲法ニ確載アルモ
 之ヲ左右シ給フヲ得ベシ而シテ之ヲ左右シ給ハザルハ憲法
 ノ威力ニ非ズ其德義ナリ論者ハ德義ヲ視テ立憲帝政ノ君主
 コハ之ヲ要セムガ如ク言倣シ君主ヲ檢束シテ憲法ニ背クコ
 ト莫ラシムルハ憲法ノ威力ニ由リ德義ノ繩墨ニ由ラズト放言
 シテ憚ル所ナキハ申韓刑名者流ト何ゾ異ナランヤ其ノ言フ所
 ノ如クナラバ憲法ニ確載スルニ臣民ニハ君主ヲ廢シ弑逆ヲ行
 フノ權アリト云フヲ以テスルニ非ザレバ十分ノ憲法ヲ制定シ
 テ君主ヲ檢束スルニ足ラザルベキナリ
 既ニ論者ノ妄ヲ辨シテ殆ント之ヲ悉シタリト雖モ猶世上ニハ
 彼ノ論者ノ輩ト其見テ同クスルノ人アリテ遂ニハ我神州ノ國
 體ヲモ傷クルニ至ルノコトモアラシク歎ト懼ルニ付キ更ニ進
 テ彼ノ異說ノ原據ヲ論駁セザル可カラズ蓋シ彼ノ異說ハ實ニ
 其原ヲ民約說ニ發ス民約說ハ政論ノ異端ナリ其歐洲ニ行ハル

、ヤ古シルソニ至リテ一變シ「社會ノ組織ハ契約ニ成ル創
 始ノ時ニ當リテヤ君主ナク國民ナク國民ニナ同地位ニ立チテ
 相約シ乃チ之ガ君トナリ之ガ民トナリテ社會ヲ組織シ以テ今
 日ニ至ルナリ若シ君主ニシテ君主タルノ行爲ニ背ケハ是レ先
 ツ其約ヲ破ルモノナレバ彼レ復々君主ニアラス既ニ君主ニ非
 サレバ我又其臣民ニ非ズ民約ハ全ク此時ニ破レ國民ソノ約ヲ
 新ニスルノ權ヲ有スベシト云ヒ社會創始ノ發端ニ遡リテ其說
 ナ立ルモノナリ此說ヤルソニ佛國當時王政ノ時ニ際シ爲ニ
 スル所アリテ説キタルモノナレバ痛快新奇大ニ當時ノ人意ニ
 投シ人皆爭テ之ヲ祖述シ遂ニ佛國激變ノ一大原素タルニ至レ
 リルソノ此說アルハ其胸中ニ於テ社會ノ創始ハカシモア
 ル可キ筈ナリト理論ノ想像ニ成ルモノナレバ單純ノ理論ニ就
 テ考ヘナハ左ル理モアルベキガ如クナレバ實際ニ據リテ察ス
 レバ社會ハ其說ノ如キ民約ニ組織セラル、者ニ非ザルヤ太タ

明ナリ然ルヲ理論ヨリシテ社會ノ創始ハ民約ナリト想像シ又
 ソノ想像ヲ現當ニ効アラスラシメント欲ス惡ク爲ニ社會ノ秩序ヲ
 破壊シ國家ノ安寧ヲ紊亂セザルヲ得ンヤ此ノ民約說ハ現時歐
 米ノ政論家ノ概チ擧テ異端ナリトシテ擯斥スル所ナリト雖モ
 實ニ全滅セザルノミナラズ激烈危變ノ政論者ガ猶據リテ守ル
 所トス今ヤ我國ノ急進論者ノ言フ所亦實ニ之ニ原據スルヲ知
 ルナリ彼レ論者ハ其胸中ニ於テ日本國ノ主權ハ原來日本國民
 ノ有スル所ナリシテ帝室ノ爲ニ尊有セラレタルナリ憲法制定
 ノ時ニ於テハ一旦此ノ主權ヲ國民ノ手ニ回復シ然ル上ニテ憲
 法ニ據リテ行政權司法權等ヲ帝室ニ割與シテ其特權トナシ帝
 室ヲシテ常ニ憲法主權ノ下ニ服從セシメザル可カラズト思惟
 スルモノナリ
 熟々彼レ論者ノ言フ所ヲ聽クニ主權ヲ君主ニ有セシムレバ則
 チ君主專制トナリ國會ニ有セシムレバ則チ國會專制トナルヲ

以テ兩ナガラ不可ナリ主權ハ國民コレヲ有セザル可カラズ主
 權國民ニ在レハ國民ニハ憲法ヲ制定シ改良スルノ權アリ憲法
 ナ恪守セザルノ君主ハ之ヲ廢シ之ヲ殺スノ權アリト云フノ主
 說ナレバ此ノ主說常ニ原理トナリテ其胸中ニ蟠マリ殆ド立君
 ノ國體ヲモ顧ミザルニ至ルナリ畢竟是ハ如キ主說ヲ維持シテ
 憚ラザルハ歐洲學士ノ議論ニ心醉シテ只ニ理論ヲノミ目的ト
 シテ更ニ實際ヲ視ルノ識ニ疎キガ故ナリ抑モ政體ハ國體ニ依
 リテ制度ヲ殊ニシ國體ハ其國ノ事跡ニ就テ定マルトハ一定不
 動ノ原則ナレバ活眼ヲ開テ實際ヲ觀察スルコソ政論ノ要訣ニ
 シテ主權ノ所在ヲ論ズルガ如キハ尤モ此ノ原則ニ據ルベキト
 ムアルナリ請フ夫ノ歐洲ノ事跡ヲ回顧セヨ歐洲國民ノ胸中ニ
 ハ希臘羅馬合衆政治ノ古史ノ深シ印シテ人心ニ感銘スルヤ恰
 モ唐虞三代ノ古史ノ支那國民ノ人心ニ銘スルト同一ナリ羅馬
 王政ノ暴戾ヲ憤リテ羅馬合衆ヲ立テ古時ノ盛大ヲ極メタルモ

該撒ノ爲メニ帝政トナリ果テハ東西ニ分レテ前後相共ニ衰微
 シテ羅馬ハ滅亡シ中世ノ群雄割據トハ成リタレハ羅馬ノ文物
 ハ更ニ其國ト共ニ亡フルヲ無クシテ歐洲開明ノ因トナリ其法律
 ノ如キハ當時ヨリ今日マデ會テ其命脈ヲ絶テタルコトアラズ是
 ナ以テ歐洲ノ士人が常ニ羅馬昔日ノ合衆時代ヲ忘ル、ニ忍ビ
 ズ其時々ノ君主ニ虐壓セラル、毎ニ羅馬時代ニハ斯クハアリ
 シゾ左ハナカリシヅト説出シ或ハ中世伊太利邦内ニ小合衆國
 ナ建テシテ見テハ欽羨ノ思ヲ爲シ或ハ古時ノ歴史ヲ讀ミテハ
 追懷ノ感ニ堪エザルハ争フ可ラザルノ事實ナリ況ヤ歐ノ北部
 ニ於テハ草昧ノ時代ニハ人民自カタ邑落ノ集會ニテ其政ヲ行
 ヒシコト口碑ニ傳ハリシノミカハ君主一統ノ世トナリテモ其跡
 ナ存シテ埋滅セザルモノ、アリシカハ國民ノ胸中ニ於テ主權
 ハ我々ノ手ニアリシコト羅馬合衆ノ時代ト云ヒ草昧ノ時代ト云
 ヒ歴史ニ口碑ニ傳ヘ存シテ古ハ民主ナリシゾ民主ヨソ社會ノ

原則ナルゾ然ルニ中世ヨリ君主ノ爲ニ此ノ主權ヲ專有セラル
 、ハ口惜シキ次第ナリ何ニモシテ回復シタキ事ナリト思フノ
 念慮ハ事ニ觸レ機ニ應ジテ感發セルモノナリ是ニ於テカ或ハ
 古例遺法ニ據リ君主ニ迫リテ主權ノ割讓ヲ求メタル英國ノ如
 キアリ或ハ單純理論ニ原ヅキ君主ヲ弑逆シテ主權ヲ國民ニ取
 リタル佛國ノ如キアリ其古例遺法ニ據ルモノハ漸ニシテ實着
 ナリ其單純理論ニ原ヅクモノハ急ニシテ激烈ナリ其果ハ大ニ
 異ナリト雖モ其主權ノ全部若クハ一部ハ我有ナリト思ヒテ君
 主ニ向テ其占有ヲ争ヒタルハ一ナリト云ハザル可ラズ而シテ
 其思アラシムルモノハ即チ古史口碑ノ其心ニ深銘スルモノ是
 ガ遠因タルヤ明ナリ左ルガ故ニ歐洲ノ學士ガ政論ヲ爲スヤ理
 論ヨリ推スモノハ云フモ更ナリ實際ニ就テ説チ立ルモノト雖
 モ兎角ニ民主論ノ方向ニ傾向シ立憲帝政ニハ民主ノ實アリ合
 衆ノ跡アリト誇張スルハ更ニ支那人ガ唐虞三代ノ禮樂アリト

誇張スルニ同シキモノナリ是レ豈ニ其國ノ事跡ノ原則タル
ガ故ニ非ズヤ
我日本ノ國體ハ彼ノ歐洲ノ國體ニ異ナリ我日本ニ於テハ八代
ノ初ヨリ國民ノ手ニ我國ノ主權ヲ掌握セシ事跡アリシカ其掌
握セシ主權ヲ帝室ニ取上ゲラレシ事跡アリシカ又其取上ゲラ
レシ主權ヲ回復セントテ國民ヨリ之ヲ帝室ニ請願シ若シハ
帝室ニ強迫セシ事跡アリシカ左ル事跡ハ古來ヨリシテ我邦ノ
歴史ニ於テモ口碑ニ於テモ曾テ之アルヲ知ラザル所ナリ然ラ
ンニハ我日本ノ主權ハ初ヨリシテ常ニ帝室ノ有シ給フ所タル
ヤ太ダ分明ナリ神代ノ歴史ハ逸ナレハ當時ノ事跡ヲ覈明スル
ニ足ラズトハ申シナガラ古事記ノ如キハ稗田阿禮ガ親シ清見
原天皇ノ授ケ給ヒタル勅語ノ舊辭ヲハ太安萬侶ガ筆記シテ和
銅五年ニ上レル歴史ナレハ今日ヲ距ル幾ド千二百年ソノ舊史
タルヤ疑フベシモアラズ歴史家ハ之ヲ以テ日本第一ノ古史ナ

リトシ神敎家ハ之ヲ以テ其經典ト崇ムル程ナルニ其史中ニ曾
テ往古ハ主權ノ國民ニ在リシト云フトモ見エザルノミカハ六
國史三鏡其餘ノ群籍ニ於テモ同シク其ノ事跡ニ似タルトモア
ラザルナリ之ニ反シ我國ニテ政治家歴史家ガ君臣ノ契約ナリ
ト證明スル伊那佐ノ小濱ノ誓ヲ見ルニ其文ニハ天鳥船神建御
雷神ノ二神ハ出雲ノ國ノ伊那佐ノ小濱ニ至リテ十掬ノ劍ヲ拔
キテ浪ノ穗ニ逆マニ刺シ立テ、其劍ノ前ニ跌ミ坐テ其ノ大國
主神ニ問タマハシ天照大御神高木神之命ヲ以テ問ニ使ハセリ
汝ガウシハケル葦原ノ中國ハ我が御子ノ知ラサム國ト言依サ
シ賜ヘリ故レ汝心奈何ト問ヒタマフキニ答ヘツラシ僕ハニ白
サシ我子八重言代主神ヨレ白スベキナ(中略)故レ更ニ且タ還リ
來リテ其大國主神ニ問ヒ玉ハシ汝子等事代生神建御名方神ノ
二神ハ天神ノ御子ノマニ々々違ハシト白シヌ汝心奈何ト問ヒ
玉ヒキ爾ニ答テ白ラシ僕子等二神ノ白セルマニ々々僕ハ違ハ

シ此ノ葦原ノ中國ハ命ノマニマニ既ニ獻ラム唯僕ガ住所ヲハ
 天神ノ御子ノ天津日繼知ラサムトダレ天ノ御巢ナシテ底津石
 根ニ宮柱ヲトシク高天原ニ水木ヲカシリテ治メ賜ハハ僕ハ百
 クラズ八十垵手ニ隠リテ侍ナム亦僕子等八十神ハ八重事代主
 神神ノ御尾前トナリテ仕ヘ奉ラハ違フ神ハ非ラシトアリ是レ
 既ニ神代ニ於テ此ハ葦原中國ハ我が御子ノ知ラサム國ト言ヨ
 サシテ邦土人民ハ主權ハ帝室ニアリト主張シ給ヒタルニ大國
 主神ハ命ニ隨テ獻ラムト答ヘテ其主權ハ統御ハ下ニ從フベシ
 ト約セルハ明文トコソハ知ラル、ナリ辛酉紀元ヨリ千三百有
 餘年間ノ口傳ハ已ニ斯ノ如クナリシニ誰アリテ當時否ラズト
 論セシコトモ見ズ又コレヲ古事記ニ筆シテヨリ幾ド千二百年
 同シク之ヲ否ラズト論セシコトモ無クテ今日ニ至レリ此事ヤ彼
 ノ論者ト雖モ其ノ日本人民ニシテ日本ノ文學ヲ修ムル以上ハ
 以テ我國ハ主權ハ帝室ノ有サセ給フ所ナリトハ既ニ神ノ代ニ

確定セルヲ熱知セザル可カラ夫ヨリ人ノ代ニ移リテ神武天
 皇ノ橿原宮ニ都ヲ定メテ我國ヲ知シ召シテヨリ御代ノ數ハ百
 廿一帝年ノ數ハ二千五百四十二年ノ今日マデ會テ國民ノ手ニ
 主權ヲ掌握セシ事跡モ無ケレバ又會テ國民ノ掌握スル主權ヲ
 帝室ニ取上ケラレシ事跡モ非ザルナリ是レ歷史上ニ於テ争フ
 可カラザルノ實證ナリ
 又帝室ニ取上ケラレシ主權ヲハ回復セントテ國民ヨリコレヲ
 帝室ニ請願シ若シクハ強追セシ事跡アルカト問ハシニ是亦更
 ニ其事跡アルヲ見ザルナリ或ハ上下二千五百有餘年間治亂ノ
 跡ヲ見テ主權ノ争ノ如クニ見做サント思フモノモアルベケレ
 是太シキ僻事ニツアルナリ請フ我國ニ於テ治亂ノ由テ來ル
 所ヲ觀ヨ概テ帝室ノ皇族中ニテ御位ヲ争ハセ給ヒシ乎若シハ
 帝室ノ將相大臣思ニ狂レ權ヲ專ニシテ遂ニ帝位ヲ覬覦セシカ
 若シハ權相ノ專横ヲ憤リ之ヲ除カント欲シテ叛セシモノカ王

朝ノ頃ノ謀叛ト云ヒシハ皆コノ三因ノ外ニ出デザリシナリ保
 元平治以降平氏政權ヲ專ラニシ遂ニ源平ノ亂トナリ頼朝ノ
 業ヲ立テラレテヨリ兵馬ノ權ハ武門ニ移リ時勢一變シテ幕府
 ノ代トハナリタレモ是マダ全ク國民ノ主權ヲ帝室ヨリ剝取
 タルニ非ザルナリ建武中興ノ業ハ武門ニ移リタル政權ヲ再
 帝室ニ回復シ給ハンガ爲ニシテ南朝勤王ノ起リシ所以ナリ而
 シテ尊氏ノ北朝ヲ奉シタルハ亦幕府ニ主權ヲキチ以テ帝室ノ
 主權ニ敵シ難キヲ知ルニ由ルノミ足利氏ノ中世ヨリ封建ノ勢
 漸ク就リテ往々公方ノ令ニ從ハザリシモノハ諸侯ソノ領地ノ
 權ヲ公方ヨリ奪ヒ取リタルニシテ君主人民ノ間ニ主權ヲ争ヒ
 シニハ非ザルナリ織田氏ノ足利氏ニ代リ豊臣氏ノ織田氏ノ後
 ナ受ケ德川氏マダ之ニ代リタルハ幕府政權ノ争ナリ同シク君
 主人民ノ間ニ主權ヲ争ヒシニ非ラザルナリ以テ我國ノ人民ハ
 會テ主權ヲ帝室ニ争ヒタルコトナキヲ證スルニ足レリ之ニ反シ

主權ノ帝室ニ有セラルベキハ前ニモ云ヘル如ク我國ノ事跡
 於テ國體ノ原則トナリタレバコソ諸侯伯其力ヲ併セテ幕府ニ
 迫リ幕府ヲシテ其實權ヲ帝室ニ返上セシメタリ太政返上王政復
 古即チ是ナリ亞テ諸侯伯ハ舉テ其封土版籍ヲ帝室ニ奉還シ其
 領地ニ行ハルノ權ヲ帝室ニ返上シタリ是レ洵コ今時ノコトニ
 シテ益々我國ノ主權ハ

聖天子ノ掌握アラセ給フコトナ明ニセル確證ナリ論者ト雖モ
 サカニ此ノ確證ヲ實跡ヨリ消滅セシムルコトヲ得ザルベキナリ
 右ニ開陳スル所ヲ以テ歐洲諸國ノ國體ト我日本ノ國體トハ初
 ヲリ其事跡ヲ殊ニスル者タルコトナ明ニ辨シ得タリト信ズルナ
 リ之ヲ再説スレバ歐洲ニ於テハ民立ノ實跡先ヅ創始ノ時ニ現
 ハレタレバ民主常ニ其國體ノ精神トハ成リ來ルモノナレモ我
 邦ハ全ク之ニ反シ君主ノ實跡早クモ人皇ノ前ヨリ行ハレタル
 ナリ以テ君主常ニ我國體ノ精神トナリテ今日ニ傳ハリ會テ之

變更セシテ非ザルナリ是レ實ニ我國體ノ萬國ニ冠絶シ世界ニ其比ナシト貴バルル所以ナリ然ルニ此ノ國體ヲ度外ニ置キ徒ニ歐洲ノ風俗制度ヲ是レ喜ビ剩サヘ歐洲ニ於テモ想像ノ妄見タル民權説ヲ祖述シ主權ヲ聖天子ノ御手ヨリ奪ヒ取リ奉ルニ非ザレバ立憲帝政ハ詮ナシト迄ニ思フモノハ當ニ我國體ヲ知ラザルハミナラズ併セテ立憲帝政ノ何物タルヲ知ラザルガ故ニ非ズヤ

且夫レ歐洲ニ於テハ王權ト云ヘバ暴虐ノ異稱ノ如クニ想フコ
 キンクリーポール
 其來ルヤ久シ蓋シ上世羅馬王政ノ頃ニハ國王暴虐ヲ放マ、ニ
 シテ國民ヲ殘害シ之ニ堪フルコ能ハザルノ極度ニ達シタレハ
 羅馬國民ハ遂ニ叛キテ王位ヲ廢シ合衆政治ヲ建タリ是ヨリシ
 テ王權トサヘ聽ケバ左ナガラ支那人ガ桀紂ト云フヲ聽クニ同
 一ノ感ヲ惹起シ其感ハ二千有餘年ノ今日ニ至ルマデモ尙ホ歐
 洲人民ノ精神ニハ先天ノ心性トナリ王權ト桀紂ノ虐政トハ離

ル可カラザルモノ、如クニ信シ之ヲ排斥スルヲ勉ムルノ情ヲ喚起セル者ナリ若シ此情勢ヲ將テ之ヲ我邦ニ比較セハ歐洲人民ノ王權ヲ廢シテ民權ヲ張ラント云フハ我邦人民ガ幕政ヲ廢シテ皇權ヲ復セント云フニ同シキノ情況ナリト評センモ亦太マ不可ナカルベキナリ我邦ニテハ人皇ノ初ヨリ已ニ帝室ノ統御ニ服従スルノ習例ヲ一般ニ遵奉シテ敢テ違フコ無カリケレハ偶々一二ノ堯舜ニモ似給ハザル帝オハシマサヌニ非ザリシカニ流石ニ桀紂ノ如キ御振舞モマシマサテ人民モ亦帝室ノ主權ヲ視ル歐洲人民ガ王權ニ畏怖スルニ似ザルコ辨テ俟タズシテ著明ナリ其中世主權ノ實力ヲ武門ニ押領セラレ帝室ハ虛器ヲ擁サセ給ヒテヨリ我國民ノ懷舊ノ念ヲ忘ルコ能ハズシテ何カニ付ケテ帝室主權ノ昔ヲ忍ヒアハレ王朝ノ古制ニ復シタシト思フハ情ハ更ニ其切ナルヲ覺ヘタリ是レ吾人が親シク十數年前ニ感觸セシ所ナレハ論者ト雖モマサカニ之ヲ忘レザ

ルベシ然ハ則チ民主主義ハ歐洲人民ニハ先天ノ心性ヨシテ君
 主主義ハ我邦人民ニハ先天ノ心性ナリト申スモ其事跡ノ實ニ
 當ラザルニ非ザルガ如シ
 諸モ 聖天子ハ我邦人民一致ノ望ニ應ジテ再ビ我國主權ノ全
 カチ帝室ニ掌握シ給ヒテケルガ敷慮ノミニテ萬ノ政ヲ知シ召
 サシハ事宜シカラズ思シ召シ乃チ御踐祚ノ初ニ萬機公論ニ決
 スベシト神明ニ誓ハセ給ヒヌ是國民ヨリ此ノ御誓ヲ強迫シ參
 ラセタルニハ非ザル也其後民選議院ノ論モ世ニ盛ニナリテケ
 レハ敷慮ニテ何様コレハ宜シカルベシト思シ召シ乃チ明治八
 年ニ漸次立憲政体ヲ建ズト勅ラセ給ヒヌ是レ亦國民ヨリ此
 ノ聖勅ヲ強迫シ參ラセタルニハ非ザルナリ又其後國會開設
 ノ氣運將ニ近ツキテケレハ敷慮ニ於テ實ニ然リト思シ召シ乃
 チ昨十四年ヲ以テ明治廿三年ヲ期シテ國會ヲ開カントゾ詔ヲ
 セ給ヒヌ是レ亦國民ヨリ此ノ聖詔ヲ強迫シ參ラセタルニハ非

ザルナリ以テ我邦ノ立憲帝政ハ 聖天子ノ大御心ヨリシテ其
 ノ主權ノ一部分ヲ國民ニ割與シ賜ハランノ聖意タルヲ證ス
 ルニ餘リアルベシ其一部分ヲ割與シ賜フテ以テ併テ其全部ノ
 主權ヲ割與シ君主ノ御身ヲ以テ臣民ト同等ノ地位ニ立チ甚シ
 キハ臣民ヨリ生權ノ賜ヲ受ケ其支配ニ屬シ給フベキノ理アラ
 ンヤ尤モ憲法ニ 聖天子ノ大權ハ云々ト敢テ之ヲ論ベシト宣
 ハスモソレハ自制ノ誓約ニシテ被制ノ誓約ニ非ザルヲ勿論ナ
 リ被制ニ非ザル以上ハ主權ヲ他ニ移サルベキ様ハアルベキヤ
 ハ彼ノ聖天子ノ大權ヲ憲法ニ明載アルヲ以テ特權ナドノ如
 クニ申シ共和政治ノ大統領ニモ此ハ特權アリ以テ其主權ニア
 ラザルヲ知ルベシナド云ヘモ我 聖天子ノ大權ハ帝室ノ固
 有權ナリ臣民ノ賜ニアラザルナリ大統領ハ大權ハ憲法ノ制與
 權ナリ固有ノ權ニアラザルナリ平解スレハ是ハ我所有物ニシ
 テ彼ハ人ノ預リ物ナリト云フベキニ似タリ我所有物ナレバト

之ヲ漫リニシ給ハザルガ立憲帝政ノ功德ニシテ即チ無限君
 主專制ノ有限君主專制ニ異ナルノ關節ナリ此關節アルガ如ク
 ニ立憲帝政ト共和政治トノ間ニモ一大關節アリ主權ノ一ハ君
 主ニ屬シ一ハ國民ニ屬スルハ差別コレナリ然ルチ今ヤ上ノ關
 節ヲ定ムルノ時ニ當リテ爲ニ下ノ關節ヲ無キモノトシ遂ニ主
 權ハ君民ノ間ニアリト云ヒ甚シキハ國民ニ在リト云ヒテ以テ
 帝政國ノ原據ヲ埋滅セシメント欲スルハ其我皇國ヲシテ君ナ
 キノ共和合衆國ヲラシメント欲スルニ異ナラズ豈ニ爲ニ悚然
 トシテ恐レザルチ得ンヤ
 論者或ハ只管ラ外國立憲制度ニ據テ異說ヲ建テント欲スル者
 アルニ付キ今更ニ一步ヲ進メテ外國立憲制度ニ於テモ立憲帝
 政國ノ主權ハ其君主ノ掌握シ給フ所タルハ確說ヲ舉示スベシ
 國權論(普國上院議員大博士シニールチエ君原撰獨逸協會木下周
 一君譯)國權章ニ云ク「天然ノ思想ヲ有スル者ハ獨リ天造人ノミ

他ノ比擬シタル無形人ハ特別ノ組織機管ニ由ラザレハ其思想
 ナ發現スルヲ能ハズ國モ亦之ニ同シ然ルニ國權ハ本無形ノ物
 ナリ故ニ必ズ物ニ憑リテ而シテ後ニ形ヲ成ス而シテ此有形ノ
 物即チ國ノ爲ニ機管トナリ國ノ所屬タル國權ノ負擔者トナル
 故ニ何ノ國ヲ論セズ凡ソ國權ハ至高無上ナル國ノ心思ノ力ナ
 リトス但タ其之ヲ負擔セシムルノ法各々異ナル處アル者ハ各
 國憲法(成文不成文律ノ別ナク)如何ニ因ルノミ立君制トハ一個
 人固有ノ權ニ據リ憲法(成文不成文律ノ論ナク)ニ率遵シ國權ハ
 負擔者タルヲ謂フナリ立憲君主國ノ君主ト共和制ノ大統領ト
 異ナル所以ハ者ハ此ハ其固有ノ權ヲ以テ政治チ主ドリ彼レハ
 他人ノ委託ヲ受テ一ノ官吏トシテ其職ヲ行フニ在リ立憲ノ君
 主ト專裁ノ君主ト異ナル所以ノ者ハ彼レハ無限ノ勢ニ倚リ其
 國權ヲ用フルヲ專ラ一己ノ意想ニ任セ此ハ憲典ノ定ムル所ニ
 準據シ他ノ不羈ノ機管ノ參預ヲ受ケ其國權ヲ用フルニ在リ立

憲、君、主、ノ、意、思、ハ、以、テ、國、ノ、意、思、ヲ、表、ス、ル、ナ、リ、專、裁、君、主、ノ、意、思、ハ、以、テ、一、己、ノ、欲、ニ、從、フ、ナ、リ、是、レ、其、異、ナル、所、ナ、リ、右、ノ、論、ス、ル、所、ハ、固、有、權、ト、委、托、權、ト、ヲ、以、テ、君、主、制、ト、共、和、制、ト、ヲ、區、別、シ、君、主、一、己、ノ、欲、ト、全、國、ノ、意、思、ト、ヲ、以、テ、專、裁、ト、立、憲、ト、ヲ、區、別、ス、ル、ノ、說、ナ、レ、ハ、即、チ、吾、曹、ガ、主、權、ノ、歸、着、ヲ、以、テ、帝、政、ト、共、和、ト、ノ、一、大、經、界、ト、シ、テ、國、民、ノ、心、ヲ、以、テ、立、憲、帝、政、國、ノ、君、主、ノ、大、御、心、ト、シ、給、フ、ナ、リ、ト、開、陳、セ、ル、ニ、恰、モ、其、符、節、ヲ、合、ス、ル、ガ、如、シ、ト、云、フ、ベ、シ、

同、ク、普、國、立、君、章、ニ、云、ク、「一、國、ノ、國、體、ハ、國、權、負、擔、者、ノ、情、況、如、何、ニ、從、テ、定、マ、ル、者、ナ、リ、蓋、シ、一、個、ノ、天、造、人、其、固、有、ノ、權、ヲ、以、テ、國、權、負、擔、者、ト、ナ、ル、キ、ハ、則、チ、其、國、ハ、君、主、制、ト、ス、普、國、ノ、沿、革、ハ、創、造、ノ、初、ヨ、リ、其、君、主、制、タル、ヲ、基、メ、著、明、ニ、シ、テ、英、吉、利、伯、耳、義、希、臘、ノ、如、ク、

巴、ニ、成、立、ス、ル、ハ、國、ニ、於、テ、國、民、其、國、王、ヲ、迎、ヘ、立、テ、タル、者、ト、遙、ニ、同、シ、カ、ラ、ザ、ル、ナ、リ、普、國、ハ、即、チ、其、君、主、ノ、肇、ム、ル、所、ニ、シ、テ、此、國、ヲ、肇、ム、ル、王、室、ハ、亦、常、ニ、立、君、ノ、定、制、ヲ、確、守、シ、自、ガ、ヲ、一、切、ノ、國、權、ヲ、

統、纒、シ、タル、ヲ、法、律、ニ、於、テ、歷、々、證、據、ス、ベ、シ、普、國、律、第、二、編、第、十、三、章、第、一、條、ニ、曰、ク、國、民、ニ、對、シ、并、ニ、緩、急、相、護、ス、ル、同、盟、ノ、國、民、ニ、對、ス、ル、所、ノ、國、ノ、機、務、ハ、國、主、之、ヲ、統、纒、ス、ト、又、同、律、緒、言、ノ、第、八、十、一、并、ニ、第、二、編、第、十、三、章、ノ、各、條、ニ、普、國、王、室、ノ、義、ヲ、表、明、ス、ル、ヲ、皆、此、意、ニ、外、ナ、ラ、ズ、現、ニ、普、國、ノ、憲、ハ、此、文、ヲ、明、記、ス、ル、ヲ、獨、逸、各、邦、ノ、如、ク、ナ、ラ、ズ、ト、雖、也、其、實、嘗、テ、此、主、義、ヲ、廢、除、ス、ル、者、ニ、非、ズ、蓋、シ、此、法、典、ハ、立、君、ノ、公、理、ニ、原、キ、獨、逸、國、法、ノ、主、義、殊、ニ、普、國、ノ、沿、革、上、ニ、符、合、シ、タル、者、ナ、レ、バ、今、日、ニ、在、テ、下、ニ、著、ス、所、ノ、一、章、ヲ、舉、テ、以、テ、國、法、ノ、不、磨、ハ、銘、鑑、ト、ス、ル、ヲ、實、ニ、要、用、ト、ス、曰、ク、王、ハ、普、國、ノ、首、長、ナ、リ、而、シ、テ、自、カ、ラ、一、切、ノ、國、權、ヲ、統、纒、ス、此、說、以、テ、普、魯、西、國、ノ、主、權、ハ、其、君、主、ノ、掌、握、シ、給、フ、所、タル、ヲ、確、證、ス、ル、ニ、餘、アル、ベ、シ、且、ツ、夫、ノ、譯、者、ノ、緒、言、ニ、據、レ、バ、獨、逸、各、國、ノ、憲、法、ハ、明、文、ヲ、以、テ、其、主、權、ヲ、維、持、シ、タ、リ、巴、威、ノ、國、憲、ニ、曰、ク、國、王、ハ、國、ノ、首、長、タ、リ、國、王、ハ、最、上、政、權、ヲ、總、纒、シ、而、シ、テ、憲、法、ノ、定、ム、ル、所、ノ、約、束、ニ、從、テ、其、權、ヲ、施、行、

ス維丁堡ノ國憲ニ曰ク國王ハ國ノ首長タリ國王ハ諸般ノ主權
ヲ總攬シ而シテ國憲ニ定ムル所ノ約束ニ依テ之ヲ施行ストア
リ亦以テ立憲帝政ノ主權ハ君主ニ在ルノ明徴トスベキ者ナリ
更ニ進ミテ彼レ論者ヲシテ所謂ル主權ノ本体ヲ明知セシメン
ガ爲ニ又シニールチエ君(普國法論第五十條)ノ説ヲ引證スベシ
其説ニ曰ク一國王ハ國權ヲ握リテ餘ス所ナク中古ノ封國王侯
ガ時々ノ機會ニ依リテ某權ヲ得某利ヲ収ムルガ如キ長短混淆
ノ聚合權ニ非ズ所謂ル總國權ノ維一統全ヲ司ドル者ナリ故ニ
王ニ歸スル所ノ權分ヲ歎ヘ或ハ國王特權等ハ説ヲナスハ獨逸
國法ニ肩シト云フベシ夫レ國王ノ主權ハ渾テ國權ハ諸支派ヲ
包括シ國ニテ議決シ國ニテ行フモノ皆王ノ名ヲ以テス所謂ル
王ハ即チ國權ナリ國權ハ即チ王ナリ即チ無形ノ國權ヲシテ有
形トナシタル者ナリ斯ノ如ク國權ハ無答責タル國王ノ身ニ附
着スル者ニシテ今此國權ヲ施用スルニ際シテハ憲法ニ遵準シ

又タ獨立主任ノ機管ト協合シテ始テ一人ノ意ハ國ノ意ナリト
云フサ全クスルヲ得ルモノナリ此ノ國權ヲ掌握スルト施用ス
ルトノ差ハ獨逸憲法ニ明ナリ曰ク王ハ國ノ首長トシテ凡百ノ
國權獨リ之ヲ統フ而シテ之ヲ用ルニ當リテハ憲法ニ定ムル所
ノ章程ニ由ルト此ノ上句ハ主權ノ全体ヲ説キテ國權ノ國王一
人ニ歸スルヲ明カニシ下句ニ至リテハ國王ノ國權ヲ施用ス
ルニ際スレハ憲法ニ對シテ亦其務アルヲ明カニスル也夫ノ普
魯西ノ立憲帝政國タルハ彼レ論者モ之ヲ知ラル、ナラン而シ
テ其國ノ博士議員ガ國制ヲ論シテ主權ハ明ニ國王ニ在リト説
クヤ是ハ如シ」
夫レ然リ獨逸諸國ニ於テ其主權ハ君主ノ掌握シ給フ所ナリ彼
レ論者ニシテ苟モ獨逸諸國ハ立憲政体ナリト云フ以上ハ玉ハ
國ノ首長トシテ凡百ノ國權獨リ之ヲ統フ而シテ之ヲ用ルニ當
リテハ憲法ニ定ムル所ノ章程ニ由ルハ大則ハ動カス可カラザ

ルハ實理ヲ悟リ得タルハ、然レモ彼レ論者若シ單ニ英國ニ據
 守シテ主權不在君主ノ説ヲ維持セントセバ吾曹ハ更ニ英國制
 度ニ付キ英米ノ碩學ハ如何ナル説ヲ立テタル乎ヲ引證シ彼レ
 論者ノ參考ニ供スベシ
 オースチン氏ハ主權ノ義ヲ説テ曰ク(セ、プロウキンス、オフ、ジエ
 リスプリニデンス第一卷第三版二百二十六葉第六講義篇)茲ニ
 確立セル人類ノ首長アリテ一定社會ノ集合体ヨリ常ニ服從セ
 ラレテ他ニ服從セザルキハ其ノ確立首長ハ其社會ノ君主ナリ
 而シテ此ノ社會ハ獨立不羈ノ政治社會ナリ此確立首長ニ對シ
 テハ其社會ノ衆庶ハ臣民ナリ即チ此ノ確立首長ニハ其社會ノ
 衆庶ハ隸屬ナリ此首長ト衆庶トハ間ニアル相互ハ關係ハ之ヲ
 君臣ノ關係ト名ケ若シハ主權ト服從トハ關係ト名クベキモ
 ハナリト云ヘリ夫ノオースチン氏ガ主權ノ大則トスル所口斯
 ノ如シ然ハ則チ英國學士即チオースチン氏ノ英國主權ヲ説ク

ヤ恰モ吾曹ト同義タリト云ハザル可カラズ
 ウールセル氏ハ主權ノ義ヲ説テ云ク(米國前エイル大學綜理ウ
 ールセル著ボリナガルプロウエンス第一卷第二編第七十二章
 二百三葉)君主并ニ主權ト云ヘル兩語ハ之チ人ニ通用スベク
 又國家ニ適用スルヲ得ベシ加之政治上ノ機管ト認メラレタル
 國家ト國法ノ實施セラル、國土トノ間ニハ親密ノ固着アルニ
 依リ直ニ國土ヲ呼ブ主權ト稱スルヲ得ベシ國土ヲ呼ブ主權ト
 稱スル時ハ主權ニ依テ保有スベキ獨立不羈ノ國土ヲ表スルヲ
 以テ其義ヲ解スルニ最モ理ニ適合スベシト思ハル、ナリ。已ニ
 主權ト云ヘバ則チ之ニ依テ第一ニ心ニ起スベキ感覺ハ主權ハ
 權力ト權限トニ於テハ最上ニシテ之ニ超ルモノナシト云フノ
 感覺即チ是ナリ故ニ一國ハ君主ハ百官百僚ハ上ニ立チ又其國
 民ハ上ニ立テリ然リト雖モ主權ノ性質ハ強クニ無限ノ權力若
 シハ不制ノ權力若シハ固有ノ權力ノミト云フヲ以テ之ヲ盡セ

リト云フ可カラズ凡ソ王權ニモ帝權ニモ用フベシ上ハ專制ノ
 君主ヨリ下ハ立憲國君主ノ權力ニモ亦之ヲ用フルヲ得ベシ但
 シ余ガ説チシテ誤ラサシメバ主權ヲ以テ有期就職ハ共和國
 大統領ノ權力ニハ未ダ曾テ適用セラレザリシナリ概チ今日
 此語ヲ用フルキハ以テ國家若シハ國民ノ首長ノ權ヲ表シ或ハ
 外交ニ關シテ一國ノ政略ヲ司掌スルヲ得ルノ首長ノ權ヲ表ス
 ルノ語ナリト知ルベキナリ是故ニ英國皇若シハ女皇ハ假ヒ實
 際ニハ其權力ヲ制限セラル、非常ナレハ凡ソ國內最上ノ地
 位ヲ表シ給フヲ以テ又憲法上ニ於テ外交政略ヲ統攬スルハ大
 權ヲ有シ給フヲ以テ實際上ハ御意ノ儘ニ爲シ給フヲ得ズ
 道理上ヨリスレバ一切無限不制ノ權力ヲ掌握シ給フガ故ニ之
 ナ主權所有者即チ君主ト稱セラレ也トハ説キタリ夫ノウ
 ルセ一氏ハ合衆國ノ民主境ニ生息スルノ學士ナリト雖モ其主
 權ノ君主ニ在ルヲ説クヤ實ニ斯ノ如シ是レ他ナシ主權ハ君主

ニ在リト大則チ立テザレハ君主制ノ大本ハ立ツベカラザルガ
 故ニ非ズヤ然ルチモ猶彼レ論者ハ立憲帝政國ノ主權ハ其君主
 ニ在ラズ是レ歐洲立憲諸國ノ通義ナリト抗言スルヲ得ル乎
 抑モ立君制ノ大則ハ君主ヲ以テ國權ヲ掌握スルノ主權所有者
 トスルガ故ニ其立憲帝政トナリテ之ヲ限制スルニ其大則ニ至
 リテハ決シテ之ヲ動かサハルモノナリ若シ之ヲ動かセハ其一
 變シテ共和政治タルチ免カレザルヲ以テナリ夫レ君主ハ共和
 政治國ノ大統領ノ如キ最上長官ニアラズ又佛國革命黨ガ民ノ
 欲スル所チ行フモノチ王トスト云フカ如キ行政長官トモ同シ
 カラズ或ハ建國ノ初ヨリ大權ヲ握リテ臣民ニ君臨シ或ハ建國
 ノ後ソノ國民ニ奉戴セラレテ大位ニ即キ人與ノ大權ヲ收メテ
 其國チ統御シ俱ニ之ヲ世襲スルノ帝王ナレハ一國ノ主權ソノ
 掌握ニアルヤ明ナリ然レモ立憲國君主ノ主權ハ無限不制ノ專
 施權ニアラズ之ヲ施スニ當リテハ之ヲ限リ敢テ限外ニ出ル

無キ即チ其立憲タリ有制タル所以ナリ斯クテコソ法ノ許サ
 ル所ハ王モ之ヲ行フ能ハズト云ヘル法語モ其實チ現ハスチ得
 ベキノミ是故ニ一國ノ主權ハ都テ君主ニ屬ス國事ニ係リ君主
 ハ知ラザルヲ若クハ許サハルヲハ一モ行フ可カラズ其ノ主權
 チ施用スルニ臨ミテハ憲法ノ定ムル所ニ由リ立法賦稅ハ之ヲ
 議院ニ協議シテ其承諾ヲ得ベク且ツ司法權ヲ羈絆スルヲ無シ
 國民ノ權理ヲ干犯スルヲ無キノ要ヲ重ズルヲ實ニ立憲帝政ノ
 根軸ナリトス之ヲ外ニシテ彼レ論者ハ我國立憲帝政ノ根軸ヲ
 何處ニ定メント欲スル乎思ハサル可カラサルナリ
 彼レ論者ガ據テ以テ金城鐵壁トセル英國ニ於テモ其主權ハ君
 主ニ在リトスルヲ吾曹ガ前條ニ證明セル如シ今ヤ吾曹又更ニ
 一步ヲ進ミ普天之下莫非王土率土之濱莫非王臣ト云ハル經語
 ハ歐洲立憲諸國ニ於テモ英國ニ於テモ同意同義ノ大則ハ依然
 トシテ保存セラレハ證ヲ舉テ以テ我が主權說ヲ鞏固ナラシ

ムベシ(立憲政黨新聞ヲ大坂ニ起シ之ヲ紹介スルノ社説ヲ該紙
 ノ冒頭ニ載セタルニ其文中ニ普天王土率土王臣ノ語ヲ引用セ
 ルチ見テ東京ノ某新聞ハ痛ク之ヲ非判シ立憲帝政ノ本旨ニ背
 クモノトセリ無稽モ亦ク甚シト云フヘシ(歐洲大陸ノ立憲帝政
 國ハ云フモ更ナリ英國ト雖モ其君主ニ對シテ其國民ミナ臣民
 ナリ生レナガラニシテ君主ニ服ソフエレン從ソフエレンノ義務ヲ負擔スルモノナ
 ルハ已ニ引擧セルオーズナン氏ノ説ヲ以テ明瞭ナリ既ニ千六
 百八十九年英皇ゼームス第二世ソノ位ヲ失ヒタルニ當リ英國
 ノ上下兩院相謀リテウヰルリアム皇マリー后ヲ迎ヘテ立テ參
 ラセタル時ニ捧ケタル誓詞ハ載テ權利法典ニ在リ其文例ニ「某
 姓名謹テ茲ニ約シ茲ニ誓フ余ハウヰルリアム皇マリー后兩陛
 下ニ忠義ヲ盡スベシ誠ニ心服シ奉ルベシ天帝余ヲ加護シ給ヘ
 トアリ是豈ニ臣從ノ誓ニアラズヤ其餘臣民タルノ證左ハ枚舉
 スルニ遑アラザレドモ此點ニ向テハ論者ニ於テ未ダ異論ナキ

ナ以テ率土之濱莫非王臣ノ大則ハ今日ニ於テ立憲帝政國ノ通
 義ナリト云フヲ以テ足レリトスベシ
 諸テ普天之下莫非王土ノ大則モ現ニ今ニ至ルマテ英國ニ保存
 セラレ凡ソ英國ハ土地ハ皆國皇ノ有タルノ義ヲ失ハザル者ナ
 リ請フ之ヲ證明セン英國學士ウヰルリアム氏英國土地所有法
 律ヲ説テ云ク(プリンシプルス、オフ、ゼロー、オフ、リール、プロ
 ナー千八百七十五年第一版)法律生徒ハ第一ニ心得ベキハ土地
 專有權ナキヲ是ナリ專有ノ思想ハ曾テ英國法律ノ認メザル
 所ナリ法律ニ於テ誰モ土地ヲ專有スルコト得ズ唯地面ヲ所有
 スルニ過ギザルノミ(フッカー、シムプル)ト名ケラレタル地面ハ尤
 貴重ノ地面ナリ此ノ地面ハ英國法律ニ於テ誰タルヲ問ハズ所
 有シ得ベキ地面ナリトス
 エトワルト皇第一世ノ(キアエムプロレス)ト云ヘル條例ニ據レ
 ハ自今誰レ彼レヲ問ハズ自由ノ民ハ隨意ニ其土地即チ小作
 ナ

賣ルコトヲ法律ニ違背セザルモノトス而シテ其買主ハ彼ノ賣主
 ガ前ニ負擔セルニ同様ノ義務及ビ租稅ヲ負擔シテ其土地即チ
 其土地ノ高領主ノ小作人タルヲ得ベシトアリ然ハ則チ(フ
 シムプル)地面ノ賣主ハ固ヨリ直小作人ニシテ其直小作人
 譲リ渡シテ我ニ代ラシムルノ自由アルノミ然レモ此人ハ已ノ
 下ニ年限小作若クハ生涯小作若クハ永久小作等ノ又小作ヲ置
 シコトヲ得ルモ如何ナル都合タリモ已ノ下ニ(フッカー、シムプル)ノ
 直小作ヲ置シコトヲ得サルナリ此キアエムプロレス(條例ハ今日
 ニ於テモ地面ノ所有主ガ已レ自カラ其土地ノ領主タルコトヲ禁
 ズルモノナレバ其賣渡ハ土地ノ賣渡ニ非ズシテ小作ノ賣渡ナ
 ルニ由リ之ヲ買フモノハ前者同様ノ義務ヲ其領主ニ盡シテ之
 ナ所有セザル可ラズ此ノ小作趣意ハ告示セラレテヨリ今日
 至ルマテ全國ニ實施セラレ此國ノ土地ハ原來都テ帝室ノ所有
 ニシテ明許賜與若クハ法律ハ默許ヲ以テ分タレタルモノナレ

ハ英國女皇ハ直接ニ於テモ間接ニ於テモ此ノ國一般ノ土地ハ
 尺寸ヲ遺サズ之ヲ所有スル君主ナリト云フコト即チ根本規則
 タリ「又「フ」ハ「シムプル」ノ直小作ニハ一條ノ處分例アリ此例ハ
 上世ヨリ今日ニ傳ヘ時ニ領主ノ利益タルコトナリ其事タルヤ直
 小作ノ下ニアル終身又小作死去スルキハ「又小作權ハ直小作」ノ
 手ニ復リ「又小作」ノ下ニアル「又々小作」死去ノキハ又小作ノ手ニ
 復ルガ如ク直小作コレハ遺傳セズシテ死去スルキハ其權ハ領
 主ニ復ラザルベカラズ是レ領主ノ祖先ガ過テ直小作ニ惠與シ
 タルノ地面タルガ故ナリ左レハ現時ニ於テハ「フ」ハ「シムプル」
 ノ直小作タル地面所有主死シテ之ヲ傳フルノ子孫ナク又死去
 ニ如何ニモセヨト云ヘル遺言狀モナキ時ハ直小作ハ其死者ト
 共ニ終リテ其土地ハ即チ原ノ領主ノ手ニ復ルベキ者也「下見ニ
 タリ是レ恰モ幕政ノ時ノ治券地ニ於ケルト其例其實チ同クシ
 明カニ普天之下莫非王土ノ義ヲ表スルモノナリ

斯ノ如クニ普天王土率土王臣ノ大則ハ立憲帝政ノ通義トナリ
 現ニ英國ニ於テサヘ今日ニ儼然タルヲ見レハ益々吾曹ガ主權
 在君主ノ説ハ彼レ論者チシテ英國ト雖モ敢テ之ニ外ナラザル
 チ證明セシムルニ餘アルベシ然レモ彼レ論者チホ吾曹ガ主權
 ハ一國ヲ統纜スルノ大權ナリ其大權ハ君主ニ屬ス君主ノ知ラ
 ザル所許サハル所ハ一政モ之ヲ行フ可カラズト云フチ以テ帝
 政ノ體トシ其主權ヲ施用スルニ當リテハ君主ハ憲法ハ定ムル
 所ニ從ヒ給ハザル可カラズト云フチ以テ立憲ノ要トシ體要聯
 絡シテ立憲帝政ノ實ヲ見ルト説クチ非難スルチ得ル乎論者請
 フ猛省セヨ抑モ主權論ハ今日ニ於テ人心ノ向背ヲ定ムルニ足
 ルノ一要問題ナリ臣子ノ正邪茲ニ決スルチ以テ吾曹敢テ此文
 チ作り併セテ論者ノ妄説ヲ匡正セントスルナリ讀者輕々看過
 スルナクハ幸甚

○主權考

此篇ハ戊寅社渡邊瀨山氏カ日報社ニ郵寄スル所ニ係リ專ラ英國主權ノ所在ヲ論究シ引證最モ覈實ニシテ反對論者ノ妄迷ヲ辨シ遺ス所ナキニ至ル依テ茲ニ其要旨ヲ採録シ讀者ノ參觀ニ供ス

余輩煩勞ヲ願ミズシテ主權ヲ論ズル所以ノモノハ英國主權ハ英皇ニ在リト云ヘル簡單ノ事實ヲ證明シ彼レ反對記者ガ妄信セル謬說ヲ排破シ讀者ヲシテ是非ノ存スル所ヲ知ラシメントスルニ外ナラザルナリ因テ本篇ニ於テハ專ラ主權ノ義解ニ基キ英國ノ主權ハ英皇ニ在ルヲ辨明スベシ

彼レ毎日記者ガ徒ニ數日ノ紙上ニ於テ呶々數千言ヲ費シタル主權論ハ要スルニ左ノ論理法ニ依テ辨論セシモノト思ハル

(規則)主權トハ法律制定權ナリ
(事實)英國々會ハ法律制定權ヲ有ス

(判定)故ニ英國々會ハ主權ヲ有ス

右ハ演繹法ナルガ故ニ規則又ハ事實ニ於テ誤謬アラハ必ズ眞正ノ判定ヲ得ルヲ能ハザルヤ勿論ナリ然ルニ主權ハ法律制定權ナリト云フハ完全ハ義解ニ非ザレバ彼レ記者ノ論理法ハ已ニ其規則ニ誤謬アルヲ以テ英國々會ハ主權ヲ有スト云ヘル判定ハ其事實ヲ證明シタルモノト爲スニ足ラザル明白ナリ今ヤ余輩モ亦記者ニ倣ヒ茲ニ演繹法ヲ用ヒテ余輩ガ信ズル所ノ判定ヲ得ント欲ス

(規則)主權トハ國家ヲ統治スル不羈ノ權ナリ

(事實)英皇ハ國家ヲ統治スル不羈ノ權ヲ有ス

(判定)故ニ英皇ハ主權ヲ有ス

若シ果シテ主權ハ國家ヲ統治スル不羈ノ權タルヲ信シ英皇ニ主權ヲ有シ給フノ事實ヲ證明スルヲ得ハ彼レ記者ト雖モ余輩ノ判定ハ論理上ニ於テ之ヲ非ナリト言フヲ得ザルベキナ

リ依テ左ニ其ノ事實ヲ證明スベシ
 英皇ノ特權(プリロゲナ―フ)ト云ヘル語ハ之ヲ分析スルキハ概
 シテ英皇ノ政治上ノ資格ト英皇ノ權カトノ二個ヲ含有スルモ
 ノトス英皇ノ特權コノ二個ノ原質ヲ含有スル所以ノモノハ英
 國臣民ヲシテ帝位ヲ尊崇セシメ帝命ニ服從セシムル爲メニ欠
 クベカラザルモノナレバナリ余輩ハ此ノ二個ノ原質ヲ各別ニ
 論ズベシ
 所謂ル英皇ノ政治ノ資格トハ何ゾヤスチーペン氏云ク皇帝
 ノ政治上ノ資格ハ即チ主權即チ無上權ヲ包含ス」ト而シテ氏ハ
 之ヲ解説スル爲ニ左ノ一例ヲ舉ゲテ云クヘンリ第八世即位ニ
 十四年第十二號ノ法律及ビ二十五年第二十八號ノ法律ニ云ク
 皇帝ハ政治宗教ニ關シ國家ノ無上ノ首長ナリ故ニ地球上ニ於
 テ何人ノ下ニモ立タズ何人ニモ附屬セズ又何人ニ對シテモ責
 任ナシト云ヘリ彼レ記者或ハブラントン氏ガ皇帝ハ何人ノ下

ニモ立タズ然レドモ法律ニハ服從スベシト云ヘル一語ヲ以テ
 之ヲ抗擊セント欲スルモ抑モ法律ハ之ヲ國法ト解スルキハ命
 令ト同一物ナリ命令ハ人ニ非レバ出ス能ハズ左レハ右ノ法律
 ニ於テ皇帝ハ何人ノ下ニモ立タズト言フハ國法ニ服從セズト
 言フト同一義ナリトス故ニブラクトン氏ノ所謂法律トハ國法
 ニ非ズシテ自然法ハ意味ナリ又ハ之ヲ國法トスルモ服從スト
 ハ道德上ニ於テ服從ストハ意味ナリト云ハハ是レ毫モ英皇ノ
 主權ヲ有シ給フハ説ヲ傷ルニ足ラズ請フ後段ヲ待テ詳論スル
 所アラシ
 スチーペン氏云ク「皇帝ノ無上ノ權ニ屬スル所ノ二大原則アリ第
 一ハ其政治上ノ資格ニ於テハ皇帝ハ萬世無窮ナリ故ニヘンリ
 エドワルド又ハジョルジハ崩シ給フベシ然レドモ皇位ハ崩シ
 給ハザルナリ」第二ハ英皇ハ無責任即チ是ナリ抑モ帝王ハ惡事
 ナ爲スイチ得ズトハ舊來確定ノ原則ナリ其意ハ帝爲ハ一言一

行盡ク公正ニシテ法ニ適スナリト言フニ非ズノ犯罪及ビ其他ノ
 惡事ハ總テ之ヲ皇帝ニ歸スルヲ得ズト言フニアリ故ニブラシ
 ストーン氏云ク「帝王ノ所爲ハ如何ニ壓抑專制ナリト雖モ帝王
 ハ神聖ナルヲ以テ刑罰ヲ被リ給フイナシトス」スチーベン氏其
 理ヲ解テ云ク若シ外國政府ニシテ我英皇ヲ罰スルノ權力ヲ有
 セシナラバ昔シ羅馬法皇ガ主唱セラレシ如ク英國ノ獨立ハ已
 ニ滅亡シタルナラシ若シ國內ノ裁判所ニシテ此權ヲ有セシナ
 ラバ我憲法ノ滅亡ハ期シテ侍ツベキナラン此ノ理由ニ依リ臣
 民ハ其帝王ニ對シテハ民事詞訟ト雖モ之ヲ起スヲ得ズ蓋シ
 帝王ハ刑事民事ノ裁判ヲ受ルノ責ヲ有シ給ハザル理由ヲ觀察
 スルニ曰ク裁判所ハ帝王ヲ管轄スルノ權ヲ有スルヲ得ズ如何
 トナレバ總テ管轄權ハ無上ノ權力ヲ表示スルモノニシテ此ノ
 無上ノ權力ハ全ク帝王ヨリ生出シタルモノナレバナリ即チフ
 インチ氏ノ語ヲ以テ之ヲ證スルヲ得ベシ云ク「誰レカ能ク帝王

ヲ命令スルモノアリヤ」トフウフエンドルフ氏モ亦云ク「臣民ニ
 シテ臣民タルノ資格ヲ有スル限リハ其相當ニ有スベキト信ズ
 ル權利ヲ求ムル爲ニ帝王ヲ束縛スルコトヲ得ルノ道ナキモノト
 ス尤モ敬聖ナル帝王ハ至當ナル權利ヲ人民ニ與ルコトヲ拒マ
 ザルベシ若シ帝王ソノ臣民ヲシテ已レト取り結ビタル契約ニ
 付キ已レニ對シテ裁判所ニ起訴スルコトヲ許サレナバ其訴訟ハ
 寧ロ天然ノ正理ニ依ルモノニシテ國法ニ依ルモノト言フベカ
 ラズ去レバ帝王ノ一人ニ加ヘタル損害ニ付テハ臣民ハ法律
 上ニ救正ノ道ナキモノタルヤ明ナリ且ツヤ帝王ノ權ハ茲ニ止
 ラズ國家ニ對シ爲シ給ヘル公害ニ付テモ亦同シブラクスト
 ン氏云ク帝王自ラ好シク國家ヲ壓制セバ臣民ハ如何ニ處スベ
 キヤト問ハバ余ハ之ニ答ヘテ云ハン帝王ノ臣民一個人ニ對シ
 テ加ヘラレタル損害ニ付キ其臣民ハ法律上ニ其救正ヲ有スル
 能ハザルガ如ク公事ノ壓制ニ付テモ帝王ハ更ニ責任ナキモノ

トス若シ、有リ、場合ニ於テ、臣民ニ法律上ノ救正權アリト言ハ、
是レ帝王ノ惡ヲ制スル爲メニ更ニ帝王ノ上ニ立テ、之ヲ檢束ス、
ルノ權力ヲ有スル者有リト假定セザルベカラズ、是レ實ニ主權
ノ意ト矛盾スルモノナリ、是ニ由リテ之ヲ觀レハ帝王ノ權力ハ
最上ニシテ無制限ナルガ故ニ法律上ニ於テハ帝爲ハ是非善惡
ヲ問ハズ一切無責任ナルコト言テ待タザルナリ
權利法典ハ舊來ノ憲法ヲ確定シ大ニ英民ノ自由權利ヲ堅固ニ
シタレドモタスウエル、ラングミード氏ノ云ヘル如ク英皇ノ權
力ハ毫モ大改革ノ前ヨリ減小セシメナシ大判事クリーシュー氏
ハ云ク「英國ノ立法行政司法ノ各部及全部ニ在テ英皇ハ最上無
制限ナリ」ブルーム氏ハ其ノ法律格言書中皇帝ニ關スル格言ノ
章ノ冒頭ニ特筆大書シテ云ク「皇帝ノ重要ナル性質ハ主權即チ
最上權ナリ、完全無敵ナリ、萬世無窮ナリ、是等ノ性質ハ我憲法ニ
依テ皇位ヲ踐ム君ノ有シ給フ者ナリ」又云ク「皇帝ハ正理ノ源泉

ナリ故ニ如何ナル裁判所ト雖モ皇帝ニ對シ裁判權ヲ有セズ然
ハ則チクリーシュー及ビブルームノ二氏モ亦主權ノ英皇ニ存ス
ルヲ認メタルコト明ナリ
夫レ主權トハ國家ヲ統治スルノ權力ヲ云フナリ施政即チ行政
權ト混同スベカラズ彼レ記者ハ英皇ハ行政權ヲ有セラルレモ
主權ハ有シ給ハズト述ベタリ余輩ハ却テ之ニ反シ英皇ハ主權
ヲ有セラルレモ實際ニ於テ行政權ヲ執カラシ給フコト少シト言
ハントス蓋シ一千六百八十八年以後ハ英國ハ大概責任宰相ノ
支配スル所トナレリ是レ宰相ハ議院ノ意向ヲ察知スルノ便ア
ルニ依リ英皇之ニ頼テ以テ議院ノ意向ヲ無視スルノ政ナカラ
ンコト務メラル、ガ故ナリ然レモ國民支配ノ權宰相ニ在ルニ
付キ英皇ハ國家ノ主權ヲ有セズト言フヲ得ズ抑モ統治ノ權
支配ノ權トハ全ク別殊ナリ統治ノ權ハ英皇ニ在ルハ夫ノ權利
法典ニ於テ英國人民ガ明ニ肯諾スル處ナリ即チ其第七章ニ於

我々英民ハ明言シテ「上帝ノ加護ニ依リ陛下ハ祖先ノ帝位ニ就キ
 王權威柄等ハ總テ陛下ノ有タルベシ」トアリ所謂ル統治トハ如
 何ナル意味ナルカ之ヲウエブストル氏ノ大字典ニ徴スルニ統
 治スルトハ最上又ハ無制限ノ權力ヲ有スルノ謂ナリ又ハ主權
 ナ有シ若クハ行フヲ謂ナリトアリ又統治ハ字ノ名詞ニハ主權
 ナ謂フトアリ然ハ則チ權利法典ニ英國國民ガ陛下ハ統治ヲ受ル
 ト明白シタルハ取リモ直サズ英國ノ主權ハ英皇陛下ニ在リト
 誓言シタルモノナリ此ノ皇帝ノ權利ニ關スル點ニ付テハ權利
 法典ハ今日ニ至ルマデ更ニ變更アルコトナシ英ノ憲法ハ已ニ
 主權ノ所在チ英皇ニアリト明言セルニ海外萬里ニ在ルノ記者
 ハ何チ昔ミテカ獨リ其國會ニアリト主張セントスル乎然レド
 モ二百年前ノ統治ノ字ハ今日ノ統治ノ字ト意味ヲ異ニスルモ
 計リ難ケレバ未ダ字典ノミニ因テ速斷スベカラズト抗論スレ

モノアラン洵ニ斯ル疑惑アルモ無理ナラヌコトナレバ請フ今日
 英國ノ法律家ガ統治ノ字ヲ如何ニ解スルカチ看ヨタスウエル
 ラングミード氏云ク「ジョージ三世ノ代ニ於テハ英皇ハ統治
 スルノミチ以テ満足セズ尙ホ支配スルノ權ヲモ盡ク親カラセ
 ンチ欲シ給ヘリ」右ノ如ク支配ノ權ヲ以テ統治ノ權ト相ヒ對シ
 使用シ統治ノ權アルモノ未ダ必ズシモ盡ク支配ヲ親カラスル
 ナ要セザルコトヲ舉示シタレバ今日英國ノ學者モ亦統治ト支配
 ト同一物ニ非ズトスルコト明白ナリ然ハ則チ統治ノ權ハ英皇ニ
 アリト謂ヘルハ權利法典ノ語ニ據リ以テ主權ハ英皇ニアルコ
 ト明諾シタル者ニ非ズシテ何ツヤ
 一千六百八十八年ニ英民ガゼームス第二世ヲ廢シウリアム
 皇及ヒマリ后ヲ立テ參ラセタル大變革ニ依テ英國ノ主權ハ爾
 來英國々會ニ歸シタリト主張スルモノナキニ非ラザレドモ精
 シク當時ノ變亂ニ遭遇シタル英國國民ノ舉動ヲ討究スルキハ其

ノ決シテ然ラザルナリ覺知スルニ足ルベシ諸セームス第二
世ハ暴戾ノ君ニマシタタレハ英人民ハ塗炭ノ苦ニ墮リ怨嗟
ノ聲道路ニ嘯シカリシカドモ臣民トシテ皇室ニ背キ奉ルナリ此
上ナキ大不敬ノ所爲ナレバ忍ビ得ベキガ程ハ忍バンモノナト
テ國民ガ服従ハ義ヲ重シ敢テ輕忽ノ舉止ニ及ハザリシ狀況ヲ
ハラム氏ガ叙セルヲ讀ムニ云ク「千六百八十八年ノ初メニ及ビ
テハ國民ノ賢良俊傑ハ皆英皇ノ宜シカラザル思召ゾヨリ遂ニ
ハ國家萬世ノ福祉ヲ破壊シ給ハシトテ憂苦シタレドモ平和ノ
手段ヲ以テ此ノ大權ヲ免カルベキ望ノ絶エザル間ハ政府ニ向
ヒテ抗敵ノ色ヲ顯サシハ聞クモ空オシロシキ救正法ナリトテ
忌避シタリケルガ此年ノ未ダ半ヲモ過ギザルニ斯ル平和ノ手
段ハ最ハヤ望ムニ甲斐ナキ世ノ有様トナリス初ノ程ハ穩ニ
人民ノ自由ヲ恢復センニハ唯一條ノ望アリ夫レハ荷蘭ノ國主
ウイリアムノ妃マリスセームス皇ノ後嗣タルベキ皇親ニマシ

々々テ耶蘇新教ヲ奉シ給ヒシカモ賢良ノ性ニオハセバセーム
ス皇ノ此妃ニ位ヲ讓リ給ハシ迄ノ苦ヲ忍バヤト樂ミタルニ
圖ラタモ同年六月廿日ニセームスノ皇子降誕アリケレバマリ
妃ヲ後嗣ト爲シ參ラズルヲ望ミモ絶エ今ハ論スベキハ萬止ム
ヲ得ザルニ由テ、セームス皇夫帝位ヨリ下シ奉リマリ妃ヲ迎
ヘテ其後嗣トハナシ參ラセタルナリ「下アリ嗚呼英民ノ皇室ヲ
貴ナヤ篤シト謂フベシ此變革ハ英國社會ニ非常ノ變動ヲ來シ
タルニ相違ナケレバ是レ決シテ國民ガ英國ノ皇室ヲ存廢シタ
ルニハアラス其ハ如何ニト云フニ若シ英民ニシテ主權ハ皇室
之ヲ有シ給フニ非ズ上下議院實ニ之ヲ有スナドハ人民ハ自由
權利ヲ彌ヤガ上ニモ彌増サントノ意ニスラハテナクワレド朝
ニ暴戾暗虐ノ君主打テ續キテ立チ給ヘルヲ好機會トシテ皇室
ヲ廢シ參ラセ純然タル民主國トナスベカリシ左ハナクテ必
ズム氏ノ記をル如ク飽ク迄モ皇室ヲ尊崇奉戴シ苦ヲ忍ビテ嗣

皇ノ踐祚ヲ待チ參ラセ萬已ムヲ得ザルニ及ビテモ尙ホ妄リニ
 他人ヲ以テ君主ト仰ガズ皇統ハ親ヲ求メテ帝位ヲ嗣ガシメ以
 テ皇統ノ不窮ヲ期スルハ是レ果シテ何ノ故ニ然ルヤ蓋シ英國
 ハ數百年來ノ君主國ニアレハ偶々暗君ノ出テ給フコトアリト
 モ之ヲ以テ永ク皇室ヲ廢絶スルキハ人心維少所ナク國家ハ土
 崩瓦解シテ收拾スベカラザルニ至リ不逞ノ徒黨ヲ結ビ群ヲ爲
 シ互ニ相殺伐シ開明ノ社會ハ化シテ蒙昧ハ修羅場トナリ國憲
 モ自由モ消滅ニ歸スベキノ大厄ヲ慮リタレバナリ爾來英國社
 會ノ人民ガ能ク結合一致シテ政府ノ下ニ服從シ敢テ離貳ノ心
 ナキハ則チ英皇トニアリテ國家ヲ統治シ給フガ故ニ非ズヤ英
 皇マシマスガ故ニ英民團結シテ敢テ分離セズ英皇マシマサ
 レバ唯カ能ク英民ヲ統治スルヲ得ンヤ然ラバ則チ英國ノ國家
 ナ統治スルノ權力ハ獨リ英皇コレヲ有シ給ヒテ他ニ此ノ權力
 ナ有スルモノナキヤ太々明ナリ而シテ全國家ヲ統治スルノ權

力ハ則チ主權ナルガ故ニ英皇ヲ以テ英國ノ主權者ト云フノ外
 ナキナリ

英國民ガウヰリアム皇及ヒマリ后ヲ立テ、英皇トナシ以テ權
 理法典ノ制定ヲ得テ大ニ其ノ權理自由ヲ鞏固ニシ皇室ノ權力
 ナ判割シタルモ皇室ノ古來ヨリ有セラレタル權力ニ至リテハ
 聊モ損傷セラル、所ナシ蓋シ皇帝及ヒ皇后英皇ノ位ニ就キ給
 ヒシハ人民ノ權力ヲ以テ立テ參ラセタルニ非ズシテ皇帝皇后
 親ラ好シテ帝位ニ登ラセ給ヒシモノナリ今夫ノ權理法典ノ載
 スル所ヲ約言スレバ左ノ如シ云ク吾々國會ノ二議院ハウヰリ
 アム皇及ヒマリ后ノ獻慮ニ適フ義ナラハ二君ヲ英皇ニ奉シ永
 シ服從ノ誓約ヲ呈シ忠誠以テ皇室ヲ翼贊シ奉ラント願フ而
 シテ二君ハ國民ノ微衷ヲ納レ給ヒ乃チ祖先ノ帝祚ヲ嗣ガセ給
 ヒシナリ去レバ此ノ法典ニ於テ古來ヨリ人民ノ有スル權理自
 由ハ之ヲ毀傷スベカラザル旨チ皇帝ノ認ノ玉ハンヲ請ヒタ

ルニ激慮ニ適ハセラルニヨリ自ラ之ヲ認メ給シナレバ英皇人
民ト訂約シタル如キノ文字ハ決シテ權理法典ニハ見エサルナ
リ總シテ此ノ法典ニ記載スル所ハ英皇ヲシテ人民ト契約ヲ爲
サシムルニ非ズ人民ヨリ英皇ニ請願シ英皇之ヲ許可シ給ヒ
タルモノトス已ニ人民ノ請願タリ之ヲ採用スルト否トハ英皇
ノ激慮ニ存シ畢竟英皇ガ人民ノ意向ニ從ヒ天下ヲ知シ召サン
トノ大御心ニ出デ許可シ給ヒタリモノナレバ若シ英皇ニシテ
國難ヲ慮リ給ハザランニハ此ノ憲法ト雖モ英皇ノ命令ナルガ
故ニ何時ニテモ廢止シ給フヲ得ベシ然レモ斯ノ如キハ國家ヲ
統治スルノ大計ニ非レバ英皇ハ意ヲ道德上ニ注ギ敢テ憲法ヲ
破リ給ハザルナリ去レバ實際下議院ノ權力ハ強大ナリト雖モ
英皇ノ作リタル憲法ノ許シニ依テ有スル所ノ權力ナルガ故ニ
之ヲ以テ英國ノ主權ハ下議院ニ在リトハ云フベカラサルナリ
上來論述スル所ヲ以テ英國ノ主權ハ君主ニ在ル所以ノ理ヲ領

解スルヲ得ベシ即皇帝皇權中ノ一部分ニシテ他ノ一部分ハ皇
帝ノ權力即チ行政權是ナリ彼レ記者ハ此皇權ヲ特權ナリトシ
主權ト特權トハ全ク別物ニシテ特權トハ單ニ行政權ノ謂ナリ
ト主張シ以テ英皇ハ行政權ノミチ有スルヲ證セント試ミタ
レモ是未ダ君主國ノ帝王ノ皇權トハ如何ナルモノナルカヲ密
ニセザルモノ也主權ハ固ヨリ常ニ帝王ノ皇權ト同一物ニ非ザ
ルハ民主國ニモ主權アルヲ以テ知ルベシト雖モ君主國ノ皇帝
ノ皇權ハ行政權ノ外ニ政治上ノ資格ヲ有シ其資格ハ至重至要
ナル主權ヲ含蓄スルモノナリ英國ノ憲法モ亦自ラ主權ハ皇帝
ニ在ルヲ明記スルガ故ニ英皇ノ皇權ハ主權ト行政權トチ有
スルモノタルヲ明ナリ

既ニ主權ハ獨立不羈ノ權力ナリ凡ソ法律ハ主權者ヲ制スルコ
能ハザルナリ英國ニ在テハ英皇主權ヲ掌握シ給フガ故ニ英皇
ハ法律ノ上ニアリ其ノ專制抑壓アルモ地球上能ク之ヲ制御ス

ルモノナキヲ解キタレバ反對記者ハ「嗚呼英皇ノ權力ハ斯ノ如ク其レ強キ平果シテ然ラバ自由權理ヲ貴重スル立憲帝政ノ英國ハ君主專制ノ國ト何ゾ擇ハン吾人が主權ノ英皇ニ在ラズシテ國會ニ在リト云フハ是レアルガ爲メナリ」ト云フナラソ果然其自由ヲ切望シ專制ヲ忌避シ國家人民ヲ暴虐ノ政ニ苦シムノ難ナカラシメント欲スルノ精神ハ感賞ニ餘リアリト雖モ其愛ルチ要セザルヲ愛ヒ慮ルチ要セザルヲ慮リ自ラ岐路ニ彷徨シ爲ニ自由ノ道路ヲ求ルニ困ジムハ亦惜ムベキナリシリーシー氏云ク「英皇ノ權力ハ吾國憲ニ於ケル孰レハ關係ヨリ觀察スルモ恰モ屋ノ家ニ於ル冠ノ人ニ於ル如シ然レモ古ヨリ國憲ニ依テ此ノ一人ノ掌握セラル、主權ナル專制自在ノ權力ヲ制限スルノ方法ハ多且強ナリトスト蓋シ英皇ガ無制限ナル強大ノ權力ヲ有スルモ臣民敢テ暴虐ヲ被ラザル所以ノモノハ之ニ備ルノ術ノ極メテ周密ニシテ主權ヲ害セザルモノアレバ

ナリ英皇ノ暴虐ニ備ルノ術トハ何ゾヤ曰ク之ヲ豫防スルニハ憲法及責任宰相アリ已ニ被リタル害惡ヲ救正スルニハ私害公害ニ就テ各々求ムベキ所アリ請フ先ヅ專政ノ弊ヲ豫防スルノ方法ニ就テ之ヲ論ゼン

主權ノ本体ハ最上無制限タルニ付キ英皇ガ其專制權アルチ幸トシテ國民ヲ治ルノ道ニ背キ給ハンコト恐レ憲法ヲ制シテ以テ英皇ハ暴虐ヲ防ギタルナリ然ルニ主權ハ專制ナリト云フニ係ラズ憲法ヲ以テ主權ヲ有セル英皇ノ權ヲ制限スト云フハ世人或ハ疑テ其間ニ容ル、モノアルベシ既ニ反對記者ノ如キモ之ヲ解スルニ苦シミシガ如シ是レ全ク憲法ノ性質ヲ詳解セズシテ妄ニ之ヲ議セントスルノ過ナリ凡ソ國家ヲ統治スルノ權力ヲ有スルモノハ此ノ權力ヲ保有セント欲スルコト勿論ナリ之ヲ保有スルノ大計ハ民心ヲ得ルコト欲スルコト欲スレハ務メテ人民ノ自由ヲ保護シ福祉ヲ増スチ計畫セザルベカラ

故ニ明主賢君ハ必ズ自ラ好シク已レノ所爲ヲ制限スルノ法
ヲ設ケ以テ道德上ニ之ヲ遵奉スルノ義務ヲ負擔ス是レ恰モ長
壽ヲ保チ久シク現世ノ福澤ヲ受ケント欲スルモノハ務メテ攝
生ノ法ヲ守リ敢テ其欲チ一時ニ恣ニスルヲ無キニ異ナラザル
ナリ故ニ主權者カ憲法ヲ制シテ其權力ヲ制限スルハ憲法ノ爲
ニ法律上ノ義務ヲ負フニ非ズ單ニ道德上ノ義務ヲ負擔スル者
ナリトス抑モ憲法ハオースチン氏ノ言ル如ク國民ニ對シテハ
法律ノ義務ヲ生スルモノナレドモ主權者ニ對シテハ道德上ノ
義務ヲ生スルノミ然ルニ歐米ノ學者ノ語中ニ君主ノ權力ヲ制
限スト云ヒ又ハ國王ハ法律ノ下ニアリナド云フヲ見テ深ク其
理ヲ解スルニ迫ナク輕忽ニ君主ハ明カニ法律ニ束縛セラル
モノナレバ主權者ト云フヲ得ズト思フモノハ是レ其語ノ本意
ハ君主ト雖ドモ道德上ニ於テハ其制シタル法律ハ國家ノ利益
タル限りハ之ヲ遵守セザルベカラズト言フノ義ニシテ主權ハ

專制ナリ制限スベカラズト言フハ道德上制限スベカラズト言
フニ非ズシテ法律上ノ制限ヲ受ルモノニ非ズト言フニ在ル
義ナリ如何トナレバ法律ハ主權者ノ命令ナルガ故ニ若シ一國
ノ主權者ニシテ法律上ノ義務ヲ負フアルハ其法律ハ他人
ノ命令タラザルベカラズ然ルニ一國ノ主權者ノ上ニ尙ホ之ニ
命令ヲ下スモノアラバ所謂ル主權者ハ獨立ナルヲ得ザルガ
故ニ主權者即チ一國ヲ統治スル者ト爲ステ得ズ然レドモ道德
上ニ至リテハ大ニ之ニ反シ何人ト雖モ之ヲ負擔セザルベカラ
ズ一夫一婦ナホ道德上ノ義務ヲ免カル、ヲ得ズ况ンヤ君主
ニ於テチヤ蓋シ道德上ノ制裁義務ハ主權ハ不羈獨立タルノ意
ニ關係ナキモノナリ故ニ反對記者ガ提出シタルフラッシュスト
ーン氏ノ國王ハ上帝ト法律トニハ服從セザルベカラズト言ヘ
ル語ハ主權者ト雖モ宗教上ト道德上ノ義務ニハ檢束セラレ、
トチ示シタル者ナリ英皇ノ主權者タルニ關シテハ毫モ影響ス

ルノ所ナキモノトス然ルニ記者ハ他ノ立憲帝政ニ最モ貴重ス
ベキ者ハ帝王ノ徳義ナリト云ヒタルヲ駁シテ云ク「立憲國ニハ
憲法ノ君主ヲ支配スルアレバ君主ハ不法ノ行爲ヲ爲サントス
ルモ能ハザルベシ獨裁政府ハ國ニ君主ノ不法ヲ制スル堤防即
チ國憲ナク君主ガ已レノ位置ヲ安ンズルヲ得ル者ハ只徳義ノ
一ヨリ外ナケレバナリ」ト其意ヲ考フルニ徳義ハ萬國共通ノ物
ナレバ道徳上義務ノ有無ヲ以テ立憲國ト獨裁國トノ區別ヲナ
ス可ラズトスルニ在リ然レドモ是レ其講究ノ盡サバ所アル
ヨリ生ズルノ誤見ナリトス抑モ徳義ニ二種アリ一チ良心徳義
トシ一チ人生徳義トス良心徳義ハ之ニ背ケバ則チ已レノ良心
ニ制裁セラレテ其苦痛ヲ感ズルニ止マレ且人生徳義ハ之ニ背
ケバ管ニ已レノ苦痛ニ感ズルノミナラズ輿論若クハ社會一定
ノ制裁ニ遇フテ其苦痛ヲ感ズルニ至ルモノナリ例ハ父子ノ
ハ爲ニ設ケタル庭訓ノ如キ諸人相習シテ設ケタル私則ノ如キ

或ハ慈善ノ爲ニ定メタル行狀ノ如キ皆人生徳義ニ屬スルヲ以
テ若シ之ニ背ケバ則チ其徳義上ノ制裁タル苦痛アルヲ以テ敢
テ之ニ背カザル者ナリ今夫ノ憲法モ亦主權者ニ對シテハ一ノ
人生徳義ノ規則タルニ過キスト雖且其ノ主權者タル君主ノ敢
テ之ニ背カザルハ其全國ヨリ徳義上ノ制裁ヲ蒙ラントチ懼レ
テ常ニ徳義上ノ義務ヲ守リテ彼ノ制裁ヲ避ルコトヲ務ムベシ而
シテ主權者ガ之ヲ務ルハ實ニ憲法アル爲ニ國民ガ受ルヲ得ル
所ノ幸福ナリ然ルニ獨裁國ニ在リテハ憲法確立セザルニ由リ
君主ハ憲法ヨリ生ズル人生徳義ノ義務ヲ負フコトナカルベシ故
ニ君主ツノ臣民ニ暴虐ヲ加フルモ良心徳義ノ制裁ヲ蒙ルマデ
ニ止マレリ立憲國ノ君主ニ至リテハ則チ然ラズ苟モ憲法ヲ無
視スレバ内ニハ良心徳義ノ爲ニ其心ニ苦痛ヲ感シ外ニハ國民
ノ勢力タル隆盛ノ人生徳義ニ制裁セラレガ故ニ暗主ト雖且
目前ノ欲望ヲ以テ敢テ此ノ内外ノ苦痛ニ代ルコト能ハザルナリ

是レ立憲帝政ニ最モ貴重スベキハ帝王ノ德義ナリト云フ所以ニ非ズヤ

是ニ由テ之ヲ觀レバ反對記者ガ道德ハ萬國共通ナルカ故ニ立憲國ノ君主ガ道德上ノ義務ヲ負フヲ以テ獨裁國ニ異ナルノ區別トナスニ足ラズト抗論セシハ全ク良心德義ノ内制アルヲ知テ未ダ人生德義ノ外制アルヲ知ラザルニ生シタル疑惑ナリト思ハル且ツヤ彼レ記者ガ立憲國ノ君主ハ終始憲法ノ爲ニ制セラレザルヲ得ザルガ故ニ帝王ノ權ハ主權ニ要スル所ノ不羈獨立タルヲ欠クモノナリト云ヒ道德ノ義務ハ萬國共通ナレバ敢テ立憲ト獨裁トノ別ヲ爲スニ足ラズト云フテ斷味スレバ憲法ハ必ズ其關スル事件ニ付テハ總テ法律上ノ効果ヲ生ズル者ト思惟スルヤ明ナリ然ルニ憲法ノ大ニ關スル所ノ件ハ主權者ト臣民トノ間ノ關係ヲ經劃スルニ在レバ其主權者ノ權力ノ施用ヲ規畫スル部分ハ即チ記者ノ說ニ從フキハ主權者ハ法律

上ニ束縛セラレザルベカラザルノ理ナリトス果シテ然ラバ其主權者ハ國會タリ帝王タルヲ問ハズ其權力ヲ法律上ニ制限セラレタルモノニシテ則チ不羈獨立タルヲ得ザルベシ然ラバ則チ其主權者ト思ヒシモノハ眞ノ主權者ニ非ズト言ハザルヲ得ズ此ノ如ク論究スルトキハ苟モ憲法ヲ設ケテ主權者ト服從者トノ間ノ關係ヲ經劃スルノ國ニハ必ズ不羈獨立ノ權力ヲ有スルモノ即チ主權者ナシト判定スルノ外ナカルベシ論シテ茲ニ至レバ彼レ記者ト雖モ自己ノ論ヨリシテ斯ク意外ノ判定ノ生シ來リタルニハ必ラズ其豫期ノ外ナルベシト信ズルナリ而シテ其ノ如此キ不都合至極ナル結果ノ生ズル所以チ反求スレバ彼レ記者ガ憲法ヲ以テ必ズ常ニ法律上ノ効果ヲ生ズルモノナリト臆斷シタルニ職由スルモノナリ

余輩ハ前條ニ於テ帝王ノ有レ給フ無制限ノ權力ニ向テ其害用ヲ豫防スル第一ノ方法ヲ論述シ終リヌ茲ニ其第二ノ方法ヲ開

陳スベシ第ニハ方法トハ何クヤ曰ク責任宰相ノ制是レナリ抑
モ英皇ハ立法行政司法ノ諸部ニ在テ最上權力ヲ有セラル、
已ニ既ニ論辨シタル如クナリト雖モ是等ノ權ハ實際英皇自ラ
施用シ給フハ絶テ罕ナリトス今日ノ慣習ニテハ大概責任宰
相アリテ議院ノ意向ニ因テ之ヲ施用スルガ故ニ英皇ノ權ハ強
大ナリト雖モ復タ人民ノ自由權利ヲ害スルノ患ナシ是レ實ニ
責任宰相ノ君主政府ニ大利アル所以ナリ然ルニ責任宰相ハ議
院ノ意向ニ從ヒ英皇ニ代リテ其權力ヲ施用シ英皇ヲシテ其欲
スル所ヲ爲スヲ得ザラシムルヲ觀テ英國ノ主權ハ實際ハ國
皇ニアラスト爲ス者アリト雖モ彼ノ宰相ガ政ヲ行フハ英皇ノ
勅命ヲ奉ズルニ依ルナリ英皇主權ヲ有サセナガテ政務ヲ親カ
ラシ給フハナク一ニ之ヲ宰相ニ委任セラル、所以ハ英皇他人
ノ命ヲ受ケテ然ルニアラズ自ラ好ミテ然ルナリ故ニ若シ英皇
政ヲ親カラシ給ハントナラハ憲法ニ於テ檢束セラル、所ナケ

レハ何時ニテモ斯ク爲シ給フノ權アリ去レバロソ權利法典後
ニシテシヨ、第三世ハ政ヲ親ラシ給ヒ宰相ハ有レドモ無キ
ガ如キ有様ヲ來シタルニアラズヤ然レモ英皇其政ヲ親ラシ給
フキハ議院ノ意向ヲ知ルソ長機管ヲ欠キ民意ノ歸スル所ヲ明
カニスルニ由ナケレバ其政務或ハ民心ニ背馳スルコトナキヲ得
ズ故ニ凡ソ民ヲシテ統治ニ服從セシメ以テ至尊ノ皇位ヲ萬世
ニ保タンコトヲ謀ルノ君主ハ敢テ宰相ヲ措テ政務ノ支配ヲ親カ
ラシ給フコトナク責任宰相ヲ設ケテ政務ヲ行ハシメ帝王ハ上ニ
在リテ統治ノ權ヲ守リ給フナリ是レ帝王其主權ヲ永續シ給フ
ノ大計ニシテ決シテ其爲ニ主權ヲ失ヒ給フニ非ザルナリ
右ニ開陳セル所ヲ以テ視レバ帝王ノ權ハ至重至盛ナリト云ハ
レ其擅用ヲ豫防スルニ至リテハ方法周密ニシテ毫モ主權ノ君
主一人ノ手ニアルヲ以テ專制壓制ヲ蒙ルベキノ杞憂ヲ懷クテ
要セザル明白ニ之ヲ理會スルニ足ルベシ然レモ萬一帝王ソソ

臣民ヲ害スルノ御振舞アラシムニハ臣民ハ法律上ニ於テ救正ヲ得ルヲ能ハズト雖モ他ニ主權ノ意ヲ害セザル救正ノ方法ナキニアラズ例ハ帝王ソノ賜與ヲ漫リニシ給フキハ帝王ハ他人ニ騙詐セラレ給ヒシモノトシテ法律ハ帝王ヲ援護スルノ點ニ由テ其賜與ヲ無効トナスヲ得ベシ又々所有權ニ付キ帝王ニ對シテ請求スルノ正理アルキハ裁判所ニ起訴スルヲ能ハザルモ高等ノ裁判所ニ在ラス帝王ニ歎願シテ帝王ノ恩惠ヲ以テ法律上ニ帝王ヲ束縛セズシテ其請求ヲ聞キ届ケ給ハシフヲ願フヲ得加之議院ハ帝王ニ諫諍シ又ハ哀訴スルノ權ヲ有スルノミナラズ皇帝ノ爲シ給ヘル公害私害共ニ責任宰相ノ忠言ニ出ルモノトナシ議院ノ彈劾法ニ依リ宰相ヲ罪スルヲ得ベキモノトス故ニ盛大無限ノ主權ハ帝王ニ在リト雖ドモ之ヲ善用セラル、ノ患ハ周密完備ノ豫防法アリ救正法アルヤ是ノ如クナレバ上ハ以テ皇室ノ尊嚴ヲ萬世ニ維持スルヲ得ベク下ハ以テ臣民ノ自由

ヲ永延ニ鞏固ナラシムルヲ得ベシ然ハ則チ主權君主ニ在ルノ説ヲ目シテ是レ君主專制ヲ慕ヒ君權ヲ擴張シ民權ヲ壓抑スルヲ欲スル者ニシテ改進針路ノ防碍者ナリト嘲罵スルハ妄言モ亦極レリト言フベキナリ、
 追次ニ開陳シタル所ハ專テ英皇ノ皇權中ノ一原素タル政治上ノ資格ニ屬スル主權ノ解說ニシテ即チ本論ノ眼目ナルガ故ニ茲ニ筆ヲ闕テ可ナリト雖モ彼レ記者ノ論中ソノ言皇權ノ他ノ原素即チ皇帝ノ行政權ニ涉ル者アリシト皇權ノ性質ヲ完全ニ了解スルニ便ナルトノ二個ノ理由アルニ依リ茲ニ其行政權ノ性質ニ論及スベシ、
 英皇ノ行政部内ニ屬スル權力ヲ枚擧スレバ英皇ハ國會ヲ招集シ之ヲ延期シ又ハ解散スルノ權アリ法案不認可權アリ國家ノ内政ニ關シテハ英皇ハ行政首長ニシテ總テ他ノ施政者ハ其代理人ノ地位ニアリ國家ノ外政即チ外國交渉ニ付テハ英皇ハ國

家ノ尊嚴ヲ彰表シ外國條約及ビ外國交際ニ總テ英皇自カラ已
レノ名ヲ以テ之ヲ爲シ給ヒ宣戰講和ノ權ハ英皇一人ノ掌握
給フ所ナリ陸海軍ノ命令ハ英皇ノ布キ給フ所ナルガ故ニ陸軍
海軍ヲ徵集シ編制シ及ビ解散スルモ英皇ノ全權ニ在リトテ
而シテ司法ノ權ニ關シテハ英皇ハ正理ノ源泉ナルガ故ニ諸裁
判所ノ判事ヲ命ジ已ノ名ヲ以テ裁判事務ヲ執行セシメ給フ且
ツ英皇ハ無上ノ施政者ナルヲ以テ自ラ犯人ヲ處刑シ又ハ宣告
後ソノ刑ヲ赦免スルノ權アリ此ノ司法權ニ關シ英皇ノ權ハ米
國行政長官ノ權トハ大ニ異ナル處アリ英皇ハ刑法犯罪人ヲ處
刑スルニ英皇ノ名ヲ以テスレドモ米國ニテハ米國民ノ名ヲ以
テス蓋シ法律ハ主權者ノ命令ニシテ其ノ國家公衆ノ利害ニ關
スルモノヲ刑法ト云フ故ニ其命令ニ違背シ敢テ主權者ニ服從
セザルモノハ主權者之ヲ處刑シ以テ其嚴威ヲ維持セザルヘカ
ラズ去レバコソ米國ニ在テハ國民ソノ主權者タルヲ以テ行政

長官ノアルニモ拘ハラズ國民ノ名ヲ以テ公罪人ヲ罰ス即チ法
律上ニ於テハ米國民自ラ犯罪人ヲ處刑スルモノナリ英國ニ在
テハ全ク之ニ反シテ英皇自ラ犯人ヲ處刑シ給フナリ是レ則チ
英皇自ラ命令ヲ發セラル、モノニシテ即チ主權者有シ給フニ
基クモツタルヤ明ナリ
且ツ反對論者ハ宣戰講和不認可權等ヲ英皇ノ有シ給フコト示
シタレハ或ハ駁シテ曰ク此等ノ權ハ行政ノ一部ニシテ米國ノ
大統領ト雖モ之ヲ有ス若シ之ヲ以テ主權英皇ニ在リト言ハバ
大統領モ亦米國ノ主權者ト云ハザルベカラズト是レ未ダ必ズ
シモ然ラズ英皇ノ是等ノ權ハ原來固有ノ皇權中ノ一原素ニシ
テ米ノ大統領ノ權ハ其人民ヨリ委託セラレタルノ權ナレバ之
ヲ有スル所以大ニ差異アリ故ニ記者ガ英皇ノ行政權ト米國ノ
大統領ノ行政權トハ同一物ナリト爲スニモ拘ハラズ大統領ノ
權ハ決シテ英皇ノ權ノ如ク廣大ナルヲ得ザルナリ乃チ(一)英皇

ニハ國會解散ノ權アリ大統領ニハ此權ナシ(二)英皇ニハ完全ノ不認可權アリ大統領ニハ極ノヲ有限ノ不認可權アルノミ(三)英皇ニハ大臣宰相公使其他ノ官吏ヲ勅任シ給フノ獨斷權アリ大統領ハ之ヲ指名スルヲ得ルモ上院ノ許可ヲ得ザレハ之ヲ補任スルコトヲ得ズ(四)英皇ニハ外交訂約ノ獨斷權アリ大統領ハ上院ノ議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得タル上ニ非レハ外交條約ヲ締フノ權ナシ(五)英國ニテハ宣戰講和ノ權ハ英皇ノ有シ給フ所ナレト米國ニテハ全ク議院ノ有スル所タリ夫ハ英皇ハ權力ハ米國大統領ノ權力ニ超過スルコト大約ス、如シ蓋シ主權者ノ委任ヲ受ケタル行政長官ヲシテ重大ノ事件ヲ獨斷スルノ權ヲ有セシメザル所以ハ若シ之ヲ有セシムルキハ委託者ノ權ハ殆ント主權ヲ覆壓スルノ勢力ヲ來スノ恐アルガ故ニ主權者ノ敢テ之ヲ許サイル所ナリ然ラハ則チ英民ガ英皇ノ此ノ廣大ナル權力ヲ掌握シ給フヲ怪シマザルノミナラズ法典ニ特書シテ其ノ無

窮ニ傳ハラシコト誓約スル所以ノ理亦甚ダ明ナラズヤ
今夫レ主權ハ國家ヲ統治スルノ不羈權ナリ然レバ主權者ハ何ニ由テ能ク國家ヲ統治スルヤ曰ク國ノ開明ト未開明トニ由テ一樣ナラズト雖モ之ヲ要スルニ未開ノ國ニ在リテハ唯一ノ行政權ニ依頼シ以テ統治權ヲ保持ス開明ノ國ニ在リテハ立法行政司法ノ三大權ヲ鼎設シ之ヲ活動シテ以テ國家人民ヲ統治スルノ具トス故ニ萬邦星列ノ間ニ立テ不羈獨立ノ國權ヲ擡揮シテ以テ一國ヲシテ他國ノ隸屬タルニ至ラザラシムル所以ノ者ハ他無シ其國ニ統治ハ權在テ存スルガ故ナリ東洋專制ノ諸國ト雖モ歐洲文明各國トイヘモ國際上ヨリ之ヲ見ルキハ是等ノ諸國ハ各對等ノ權ヲ有シテ相下ラズ獨リ相異ナル所ノモノハ國內人民ノ自由權利ヲ保テ幸福ヲ享有スルノ多寡如何ニ在ルノミ文明ノ諸國ガ多量ノ幸福ヲ享有スル所以ノモノハ主權ガ國家ヲ統治セルコト方リ私意ヲ逞クセズシテ立法行政司法ノ三

權力確立シテ各其權限ヲ明カニシ秩然整理シテ互ニ相侵ス
 ナカラシムルニ由ルナリ故ニ主權者ガ國家ヲ統率シ人民ヲ治
 ムルニ當リ必ヤ立法行政司法ノ三職ヲ併セテ固有ノ大權ト爲
 サイルヲ得ズ然レモ一人ニシテ自ラ此三職ヲ運用セント欲ス
 ルトキ三職ノ區分政理上ニ於テハ判然タルモ實際相侵犯シテ
 三職各自ノ本色ヲ全クセザルガ爲ニ文明ノ國ニ在リテハ君主
 必ズ方法ヲ設ケ此三職ノ中ヲ他人ニ委任シ自ラ之ヲ侵ス可
 ハザルヲ務ム是レベンサム氏ガ主權トハ立法行政司法ハ三權
 ナ設置シ及ビ廢止スルノ權力ナリト解セシ所以ナリ
 主權トハ設置及ビ廢止ノ權力ヲ云フモノニシテ此設置ノ權
 以テ主權者ハ立法行政司法ノ三權力ヲ設置シ其欲スル所ノ人
 ナ以テ其任ニ當ラシムルヲ得ル又既ニ與ヘタル權力ヲ其人
 ヨリ褫取シ之ヲ他人ニ賦與スルヲ得ル故ニ英國ニ在テ之
 ヲ言ヘハ主權者タル者ハ立法部ナル國會ニ命シテ法ヲ制定セ

シムルノ權力ヲ有セシムルモノハナルコトキ主權者ハ其付與
 タル立法權ヲ國會ヨリ褫奪シ之ヲ他人ニ與ルヲ得ル故ニ
 主權ナル者ハ立法權ハ上位スルモノトス

之ニ由テ觀ルトキハ立法行政司法ノ三權力ハ源ヲ主權者ニ發
 スル者ナリ主權者ハ其欲スル所ニ從ヒ法律ヲ制定スルコトハ自
 ラ之ヲ爲シ之ヲ施行スルコト之ヲ維持スルコトハ之ヲ他人ニ
 委託スルモ可ナリ其法律制定ノ事務ハ之ヲ他人ニ委託シテ行
 政司法ノ二事務ヲ自己ノ手ニ留メ置クモ可ナリ或ハ又司法權
 ノミヲ自己ニ留メ置キ立法行政ノ事務ヲ他人ニ委任スルモ可
 ナリ又此三ツノ事務ヲ悉ク他人ニ委任シテ主權者ハ此立法行
 政司法ノ三權ヲ設置シ及ビ廢止スルノ權ノミヲ有スルモ亦可
 ナリ故ニ主權ハ法律制定權ニアラズ又推察シテ言ヘハ立法行
 政司法ノ三大權ヲ併合シテ以テ直チニ主權ナリトスルトキハ
 主權者ガ此三權ヲ分製セズシテ之ヲ他人ニ委託シタルトキハ

此三權ナ一手ニ委託ヲ受ケタルモノハ即チ主權者ナリト謂フ
 モ可ナリ然レモ此人ハ他人ノ委託ヲ受ケテ此三權ヲ有スル者
 ナルニ付何時ニテモ此委託ヲ爲シタル人ハ之ヲ取返スコトヲ得
 ベキ筈ナリ既ニ他人ヨリ褫奪セラルベキモノナラバ此ヲ以テ
 主權者ナリト言フコトヲ得ザルベシ是ニ由テ之ヲ親ルニ法律制
 定權ハ主權者ノ製造スル所ノ者ニシテ主權ノ下ニ位スル者
 ルヤ明白ナリ

余輩ハ既ニ主權ハ國家統治ノ權ニシテ英皇ノ實ニ此統治權ヲ
 有シ給フコトヲ反覆丁寧ニ辨明シ以テ彼レ反對記者ガ覺ルアラ
 シコトヲ庶幾シ再ビ主權ノ性質ヲ辨明シ主權ハ制法ヲ權ニア
 ラズ制法ハ國家ヲ統治スル爲メノ一機具ニシテ行政及ヒ司法
 ナ併セテ統治ノ機具ヲ完全スルモノニシテ此三個ノ機具ハ主
 權者カ其便宜ト信ズル所ニ從ヒ或ハ他人ニ委託スベク或ハ自
 テ保持スベク或ハ一旦委託シタル者ヲ取戻シ他人ニ委託ス

ルコトヲモ得キ理由ヲ明示セシカハ彼レ記者ノ剛愎ナルモ必
 ズヤ心中ニハ單ニ主權ヲ以テ制法權ナリト説キシハ銳氣ヲ失
 言コテ其駟モ及ビガタキヲ悔イタラントハ信ズレドモ彼レ強
 項記者ハ仍ホ或ハスミストイヒ或ハギグーイヒ或ハ少リス
 ナアントイヒテ法律社會ニハ聲名モナキ洋人ノ名ヲ引出テ來
 リテ援軍トシ或ハ以問充答ヲナシ或ハ自家撞着シ或ハ爭點無
 縁ノ語ヲ臚列シ或ハ虛語修飾シ或ハ思想紛雜セル等徹頭徹尾
 推理ニ背馳セル言語ヲ積累シタレハ茲ニハ彼レ記者ガ主權ヲ
 論シタル諸篇ヲ通觀シ其骨子トセル數點ヲ摘ミテ之ニ一擊ヲ
 試ミ以テ余輩ノ責ヲ塞カントス

彼レ記者ガ主權國會ニ在リトノ説ヲ維持センカ爲ニ舉示シタ
 ル理由ハ之ヲ二様ニ區別スルヲ得ベシ第一様ヲ表面ノ證トシ
 第二様ヲ背面ノ證トス而シテ表面ノ證ハ主權國會ニ在ルコトヲ
 證スルニ在リ之レヲ證セントシテ曰ク主權ハ制法權ナレバナ

リ曰ク英政府ハ混淆政府ナレバナリト背面ノ證ハ英皇ハ主權
ヲ有セザルコトヲ證スルニ在リ之レヲ證セントシテ提出セル意
見ニ三アリ一ニ曰ク英皇ハ何事ヲモ爲シ得ルニ非ズ二ニ曰ク
英皇ハ憲法ニ制限セラル三ニ曰ク皇權ハ行政權ノ謂ナリ彼レ
記者ノ意見ハ大要如此謂フ順次ニ之ヲ論駁セン第一様第一ハ
主權ハ制法權ナリトイフニ在リ彼レ記者ガ強テ皇權ヲ以テ制
法權ト同一物ナリト断定セル所以ハ謂ク彼レ腦裡ニ主權ハ國
會ノ掌握スル所タラザルベカラズト先ツ臆斷シ而テ後此臆斷
ヲ扶助スルノ義解ヲ求メタルニ由ルナリ因テ余輩ハ一問ヲ起
シテ之ヲ詰ラン曰ク制法權ヲ有セル國會ハ眞ニ何事ヲモ爲シ
得ルヤ若シ然リト答ヘナバ又々問フ(一)英國國會ハ皇統ヲ變換シ
又ハ廢止スルヲ得ルヤ(二)英國國會ハ自己ヲ壞滅スルコトヲ得ルヤ
諸フ第一問ヨリ之ヲ論ゼン抑モ英國ハ如何ノ國體ヲ有スル國
ナルツ英國ハ世襲ノ君主國ニ非ズヤ英國ノ世襲君主國タルコ

ハ炳焉トノ復々掩フベカラザルノ實ナリマツカロツク氏曰ク
英皇ハ無上ナリ其職ハ世襲ナリ總テ法律ハ二議院ノ協議ヲ經
テ皇帝親ラ勅宣シ給フ者ト看做ス者ナリト蓋シ英國皇統ノ世
襲タルハ英國憲法既ニ之ヲ明言ス天下誰カ復々之ヲ疑フ者ア
ラシヤ皇統ノ既ニ世襲タル上ニハ英國ノ人民誰カ又皇帝ヲ高
御座ヨリ逐ヒ參ラセ其好ム所ニ任セテ他人ヲシテ皇位ヲ嗣ガ
シムルコトヲ得ンヤ必ズヤ皇胤ヲ以テ踐祚セサセ奉ラズバア
可ザルハ言ヲ待タズ
ベンサム氏ハ故ニ曰ク人民ガ主權ヲ有スル國ニ於テノニ獨立
ノ權ガ立法行政司法權力ヲ實施スル人ト別人ノ手ニ在リ故ニ
世襲帝政國ニ於テハ人民ハ選ニ依テ嗣君ヲ先君ノ後ニ立ルハ
權ナシトベンサム氏ハ素ト民主政治ヲ好メルノ學士ナリ然レ
ニ英國ニ就テ言フ所ハ則チ如此亦以テ君主國ト民主國トハ大
經界アルヲ見ルベキナリ

論者或ハ曰ク英國憲法ニ於テ縱使皇統ト雖モ某々ノ血統ニ限
 リ帝位ヲ讓マセ給フベシ等ノ定メアレバ英國ノ皇位ハ純然
 ル世襲トイフベカラスト是決シテ然ラズ憲法ニ於テ皇位ニ登
 リ給フベキ皇統ヲ定メタルハ英國會ガ主權者ノ權ヲ以テ廢立
 ノ權ヲ行ヒタルモノナリト速了スベカラズ是皇親ガ皇統ノ爭
 ヒチ起サシトナリテ慮リ皇位ハ移リ行ク筋道ヲツケタルマ
 ハ漫リニ國會ノ好ム所ヲ擁立スルヲ得ルノ權トハ大ニ差違
 リトス

以上論ズル所ヲ以テスレバ英國會ト雖モ善ク世襲ノ皇統ヲ廢
 立スルノ權力ヲ有セザルヤ疑ヒテ容ルベキナシ英國會ハ法律
 ヲ制定スルニ就テハ無限ノ權アリトスルモ遂ニ主權ニ必要ナ
 ル立法行政司法ノ三權力ヲ設立シ又ハ廢止スルノ權ヲ具備ス
 ルト能ハズ故ニ英國ニテハ國會ガ制法權ヲ有スルニ付主權モ
 亦國會ニ在リト論ズルガ如キニ至リテハ牽強附會モ亦甚シキ

モノト謂フベシ

余輩ハ更ニ進ミテ第二ノ反駁ニ立入り英國會ハ果シテ無制限
 ノ制法權力ヲ有スルガ故ニ何事ヲモ爲シ得ルモノトセバ英國
 會ハ英國ノ制法部(即チ自己)ヲ設置シ又ハ廢止スルノ權アリヤ
 否ヤヲ論究スベシ彼レ記者ハ或ハ謂ハシ英國會ハ制法ノ權
 ルガ故ニ法律ヲ制定シテ其制法權力ヲ廢止シ又ハ他人ニ委託
 スルトチモ得ルナルベシト是亦誤ノ太甚シキ者ナリ抑モ國會
 ガ制法ノ權アリト云フ所以ノモノハ則チ國會ノ存在スルトチ
 含ミテ言フモノニ非ズヤ何トナレバ若シ國會ハ法律制定ノ權
 ナ有スト云ヒツ、自己ヲ破滅シテ跡ヲ世ニ絶タツムルトキハ
 國會何ニ依テ其制法ノ職務ヲ盡ステ得ルヤ故ニ國會ガ制法ノ
 權力即チ職務アル所以ハ即チ自ラ毀ツノ權ナキヲ證スルモノ
 ニシテ其制法權ハ決シテ自己ノ存廢ニ亘ルト能ハザルナリ左
 レバ國會ヲ開閉シ延期シ解散スルトサヘ自ラ爲ス能ハズ

シテ英皇ノ獨有スル所ハ權ニハアズヤ解散ハ權ノ如キハ殆
ト國會ヲ存廢スルノ權ニ均シト言フモ過言ニハ非ズ而シテ此
權ハ國會自カラ有セズシテ却テ英皇之ヲ有ス是ニ由テ之ヲ觀
ルニ推理上ヨリスルモ實際上ヨリスルモ英國國會ハ自己ヲ存廢
スルノ權理ヲ有セザル者ナルヲ證スルニ足ルナリ
彼レ記者ガ英國ノ主權國會ニ在リトノ說ヲ成立セント欲シテ
第二ニ提出セシ意見ハ英國政體ハ君主制ニ非ズ民主制ニ非ズ
君民同治制ナリト云フニ在リ即チアラクストーシ氏ノ有名ナ
ル鑿空ノ說ヲ引證シ來リテ曰ク君主國ニハ主權君主ニ在リ貴
族政體ニハ主權貴族ニ在リ共和政體ニハ主權人民ニ在リ英國
ハ君主貴族平民ノ三ツヨリ成立ツ混淆政體ニシテ行政權ハ君
主之ヲ掌握シ他ノ立法權ハ君主貴族平民ヨリ組織シタル國會
之ヲ掌握ス「ト抑モアラクストーシ氏ガ此說タル英政府ノ權力
ノ平均シテ弊害ヲ生ゼザルヲ賞賛シタルモノニシテ氏ハ英

政府ハ君主專制貴族制共和制ノ長所ヲ取リタルノ故ヲ以テ英
國ニハ主權國會ニ在リトハ決シテ謂ハザルナリ其主權國會ニ在
ル所以ハ立法權ヲ以テ主權ト同一視シタルヲ以テナリ(最モ同
氏ハ制法權ヲ論ズルノ章ニハ主權國會ニ在リト云ヒ又他ノ所ニハ「
ズル章ニハ主權君主ニ在リト云ヒ又他ノ所ニハ「
引證セル如ク主權社會ニ在リト說キ區々ニシテ定見ナシ)若シ
然ラズシテ英政體ハ三種政體ノ長所ヲ取リタルガ故ニ主權國
會ニ在リト謂ハバ是毫モ論理ヲナサザルナリ何トナシハ君主
專制ノ長所ヲ取リタル點ハ君主ヲ以テ行政長官ト爲シタルニ
非ズヤ然ルニ專制國ニハ君主々權ヲ有スルガ故ニ英皇ハ之ニ
倣ヒタル者ナレバ矢張行政長官タルノ資格ヲ以テ少シトモ主
權ノ幾分ヲ有スル者ト謂ハザルベカラザルノ理ハ貴族平民ガ
貴族制共和制ノ長所ニ倣ヒ立法ノ一部ヲ取ルヲ以テ主權ノ一
部ヲ有セリト主張スルト同一理ナルヲ以テナリ果シテ然ラバ

君主ハ立法部ハ一員トシテ主權ハ割前チ有スルハ無論其外ニ
 行政ノ權チ有スルヲ以テ又主權ハ割前チ得ルモノト推理セザ
 ルベカラズ然レモ是レブラクストン氏ノ意ニアザルヤ明
 カナリ故ニ同氏ノ英政體チ以テ三種ノ政體ノ長所チ取リタル
 一チ賞賛シタルハ之ヲ以テノ故ニ主權ガ國會ニ在ルヲ證セ
 ントニハ非ズ英國ノ政治活機ノ運轉ノ軟滑ナル所以チ示シ
 タルコ止ルモノナリ」
 彼レ記者ガ表面ノ證ノ非理ナルコトハ既ニ排撃シ盡シヌ是ヨリ
 彼レ記者ガ裏面ノ證ハ英皇主權ナント云フニ在リ而シテ之ヲ證
 明セント欲シ提出セル意見ノ第一ハ英皇ハ何事チモ爲シ得ズ
 ト云フニ在リ蓋シ以爲シ主權ハ何事チモ爲シ得ルモノナレバ
 制法權チ他人ニ托シテモ自ラ法ヲ作ルコトチ得ベキ等ナルニ其
 然ラザルハ如何ニト是レ記者ガ主權君主ニ在リト云フ説チ排
 撃スル堅甲利兵ト恃ミシモノナリ然レモ此抗撃ハ多ク力チ用

フルマデモ無ク唯一撃ニ之ヲ破碎シ去ラン曰ク既ニ制法ノ事
 ハ悉ク之ヲ他人ニ委托スルトキハ自己ニハ制法ノ能力ハ之ヲ
 留存セザル故ニ英皇獨リ自ラ之ヲ爲ス能ハザルノミ凡シ爲シ
 難キ事ニ二種アリ一チ物理上爲シ難キ事トシ二チ道義上又ハ
 推理上爲シ難キ事トス物理上爲シ難キコトハ一例チ以テ之ヲ
 説明セン人アリ刀劍チ所有センニ之ヲ百里外ノ地ニ預ケ置キ
 タルニ方リ或者其人ニ追リテ曰ク足下ハ刀劍ノ所有主ナリト
 稱スルニ非ズヤ凡シ所有權チ有スルモノハ其物品チ賣買シ若
 シハ毀滅シ若シハ使用スルモ自由ナル等ナリ足下今刀劍チ所
 有スト云フナラハ唯今目前ニチ其刀劍チ帶ビヨト言ハンニ其
 人ハ必ズ大ニ窮スルナラン刀劍ハ百里ノ外ニ在リ如何ニシテ
 能ク之ヲ帶ルチ得ンヤ然リト雖モ現ニ之ヲ使用スル能ハザレ
 バトチ其人ハ依然其刀劍ノ所有主タランニハ其權理ニ於テハ
 毫モ缺損ナラズ今汝チハ之ヲ帶ル能ハザレバ汝チハ果シ

其刀劍ノ所有主ニ非ルベシト云テ詰ルモノハ則チ物理上爲
シ難キコトヲ以テ所有主ニ迫ルモノナリ今主權者ニ於テモ亦然
リ國會ハ制法權ヲ有スルガ故ニ英皇ハ現ニ之ヲ有シ給ハザル
ハ余輩ガ爭ハザル所ナリ然レモ英皇ガ現ニ獨リ法ヲ制定スル
能ハザルニ依リ英皇ハ何事モ爲シ得ル者ニ非ザルガ故ニ主權
英皇ニアラズト云フニ至リテハ余輩決シテ服スル能ハズ如何
トナレバ英皇ガ現ニ法ヲ制シ能ハザルノ事實ハ確ナレモ其能
ハザル所以ハ素ト英皇ハ此權ヲ有セザルニ由ルカ將タ之ヲ他
人ニ委任シタルガ故ニ其委任中ハ之ヲ使用スル能ハザルニ依
ルカヲ探求セザルベカラザレバナリ而シテ英皇ガ制法スル能
ハザルハ此權ヲ固有シクルモ委任中ナルニ由ルト否ラザルト
チ證明スルニハ他ニ其證明ノ法ヲ求メザル可ラズ然ルニ彼レ
記者ハ獨リ委任中ナル故ニ其委任ノ事件ヲ自カラ爲ス能ハザ
ルコトヲ證スルニ英皇之ヲ固有セズト云フヲ以テスルノ非理ナ

ルチ覺ラザルハ言フマデモナシ抑モ現ニ英皇ガ制法ヲ爲ス能
ハザルハ何故ナルカヲ討究セザル可ラザルコトニモ思慮ノ及バ
ザリシ所ト思ハル何トナレバ彼記者ハ毎々余輩ニ迫ルニ主權
者ハ何事ヲモ爲シ得ルモノナルニ英皇ハ爲シ能ハザルコトアリ
此故ニ英皇ハ主權者ニ非ズト云テ物理上ノ爲シ難キコトヲ以テ
人ニ迫ルチ覺ラザレバナリ
次ニ道德上若クハ推理上爲シ難キ事アリ何ナカ推理上爲シガ
タキコトナリヤト云フニ例セバ我が東京ヨリ東海道ヲ大坂へ向
ケテ出發シ同時ニ北陸道ヲ新潟ニ向ケ出發スルコトハ叶フマシ
何トナレバ一身ニシテ同時ニ東ニ行キマダ西ニ往ク能ハザレ
バナリ今英皇ノ制法權ニ於ケルモ亦同一理ハニ英皇ニシテ其
主權ヲ活用スルハ一具クル制法ノ權ヲ擧ゲテ之ヲ國會ニ委託
スル以上ハ制法ノ能力ハ全ク國會ニ移リ英皇ハ手ニ在ラズ故
ニ之ヲ國會ニ委託スルト同時ニ之ヲ使用セヨト迫ルハ人ナシ

テ西シ亦同時ニ東セヨト追ルト一般ニシテ推理上爲シ得ベカラザルヲ以テ人ニ責ルモノト謂ハザルベカラズ凡ソ主權者ハ何事ヲモ爲シ得ザルナシトイフハ推理上爲シ得ベカラザル事ヲモ爲シ得ルト言ニハアラス普通ノ道理ニ基キテ人類ノ爲シ得ベキ事件ハ法律上他人ノ抑制ヲ受ケズシテ爲シ得ルトイフニ在ルノミ彼レ記者ハ未ダ之ヲ辨知スル能ハズシテ却テ難キヲ以テ英皇ヲ責メント欲ス蓋シ法律上ノ抑制ト推理上爲シ得ベカラザル事トノ別ヲ發見スル能ハザルノ儕輩ナリト鑑定セザルヲ得ズ

又彼レ記者ガ英皇ハ主權ヲ有セズトノ説ヲ維持スル爲メ掲ゲタル第二ノ證ニ云ク英皇ハ憲法ニ制限セラル、ト夫レ英皇ガ憲法ノ爲ニ制限セラル、ハ勿論ノ義ナリ英皇ガ恣ニ憲法ニ違背シ給ハザレバユソ英國國民ノ自由モ安固ナレ立法部モ活潑ナレ然レモ英皇ハ如此制限セラル、者ハ是道德上ノ制限ニシテ

法律上ノ制限ニ非ズ之ヲ要スルニ英皇ニシテ主權者ナラハ憲法ノ制限ハ道德上ノ制限ナリ國會ニシテ主權者ナラハ英皇ノ受ケラル、憲法ノ制限ハ法律上ノ制限ナリ故ニ英皇ガ憲法ニ依テ法律上ニ制限セラル、カ將タ道德上ニ制限セラル、カヲ判定セント欲スルニハ先ツ英皇ハ主權者ナリヤ否ヤヲ他ノ方
 法ヲ以テ詳ニスルヲ以テ喫緊ノ要務ナリト信シタルニ由リ余輩ハ不羈ノ統治權ハ英皇ニ在ルヲ以テ英皇ハ主權者ナリト斷定シ然ル後チ英皇ノ惡習ハ法律上ノ責罰アリヤ無キヤヲ明示シ以テ英皇ハ法律ニ依テ支配セラル、トナキニ依リ到底英皇ヲ以テ主權者ト爲サハルベカラズト斷定セリ然ルニ彼記者ハ論理ヲ茲ニ取ル能ハズシテ即チ主權ノ統治權ナルコトヲ拒ム能ハザリシ却テ英皇ハ法律ニ羈束セラル、トシテ證明シテ余輩ノ論陣ヲ突カント欲シタレモ其證トシテ舉クル所ヲ見ルニ概テミナ法律上ノ論ト及ビ行政權ト主權トヲ混淆シ論鋒紛亂シ

テ見ルニ足ル者ナシ記者自ラモ其證ノ不充分ナルヲ悟リシニ
 ヤ遂ニ又彼ノルーソーノ民約論ト異名同物ナル英國ノ根本契
 約ヲ提出シテ英皇ハ此根本契約ニ束縛セラル、故ニ法律上ノ
 制限ヲ受ルト主張セント試ミタリ記者ハ云ク「論者ノ強辯ナル
 モ英皇ハ即位ノ誓詞ヲ取ルヲ要セズトハ言ヒ能フマシ」ト夫
 此誓詞ナルモノハ即チ權理法典ニ定メタル所ノモノニシテ即
 チ同法典ニ明言シ君民間ノ根本契約ト云フモノナリ然ルニ此
 根本契約ナル者ガ契約ノ効ナキコト有名ナルプロハム侯ガ其
 政治論ニ於テ詳説スル所ニ就テ見ルベシ且ツ實際ニ之ヲ見ル
 モ其然ルヲ知ラン試ミニ英皇ガ此根本契約ニ背キ虐政ヲ施シ
 給フコトアリトセンカ英皇ハ果シテ如何ノ制裁ヲ受ルヤ英國民
 ハ之ヲ英國裁判所ニ訴フルヲ得ズ唯輿論ノ裁判所ニ訴フルニ
 止ルニアラズヤ凡ソ此等ノ制裁ハミナ人爲道德ノ制裁ナリ彼
 ノ記者ハ余輩ガ懇篤ナル論辯ヲ費シタルニモ拘ハラズ未ダ人

爲道德ノ制裁ト法律ノ制裁トノ別ヲ會得セサルモノナリ」
 記者ガ英皇不有主權説ヲ維持セル第三ノ意見ハ皇權(記者ハ剛
 愎ニモ猶ホ「プリロゲナーフ」ト「プリビリツテ」ヲ混視シテ其ニ特
 權ト譯シ以テ世ヲ欺カント計ルモノ、如シハ行政權ノ謂ナリ
 トスルニ在リ彼記者ハ英皇ノ皇權ハ行政權ノミニ止ルコトヲ主
 張シタルニ余輩ハホツクス氏ブラクストーン氏ベッサム氏判
 事スナールベン氏博士ブルーム氏大判事クリーシト氏其他法律
 チ以テ聞ヘタル名士ハ概テ法律上ニ於テハ主權ヲ以テ英
 皇ノ掌握シ給フ所トセルノ説ニ信テ措キ彼レ記者ノ誤説ニ感
 化スルコト能ハザルナリ抑モ主權ノ何レノ所ニ存在スルヤチ定
 ムルニハ專ラ法律上ヨリ見解ヲ下スニ非レバ決シテ主旨ノ一
 定チ期シ難シトス法律上ノ議論ハ極メテ精細緻密ナル者ニシ
 テ決シテ彼ノ政治論者ノ泛々漠々タル者ノ比ニ非ズ記者ノ論
 ノ如キ今法律上ヨリ論ズルカトスレバ忽焉トシテ政治ノ實際

上ヨリ論ヲ實際上ニ移ルカトスレバ復タ法律上ニ返ル等他ヲ
 攻撃スル時ト自己ノ論旨ヲ構築スルトキハ其論據ニ不同アル
 所以ノモノハ蓋シ彼レ記者ハ未タ法律ヲ以テ相論議スルニ足
 ルヲ知識ヲ具有セザルヲ明カナリ」
 抑モ主權ハ立法行政司法三權力ノ上ニアリテ之ヲ存廢スルヲ
 得ルノ權力ナリ此義ニ基キテ英皇ノ主權者ナルヲ證明スル
 一
 (一)英皇ハ上院ノ議員ヲ命ズルノ權アリ英皇ニシテ單ニ行政官
 ノミナランニハ立法院ノ成立ニモ關スル事件ヲ獨斷シ得ベキ
 ノ理ナシ如何トナレバ行政官ハ立法院ノ下ニ位スル者ニシテ
 立法院ニ命ヲ受ソルモ立法院ニ命令スルヲ得ベカラザレバ
 ナリ
 (二)英皇ハ人民ガ下院ニ代議士ヲ出スト出サハルトハ決定スル
 ノ權アリ英史ヲ案ズルニ英國人民ハ久キ間々代議士ヲ出スル

以テ困難ナル義務ヲ負擔スルヲ思惟シタレバエドワルド三
 世リナヤルド二世及ヒ其以後ノ英皇ノ治世ニ於テ國會ノ代議
 士ヲ出スノ重任ヲ免ガレノヲ請ヒ其許可ヲ得タル地方夥多
 ナリキ畢竟代議士ヲ出スヲ以テ權理ト認メタルハ後世人智
 ノ大ニ發達シタル時ノ事ナレバ議院ノ性質タルヤ帝王ガ政治
 ヲ爲スニ就テ民意ノ向背如何ヲ知ラント欲シテ之ヲ召集スル
 モノナリ語ヲ換テ之ヲ言ヘバ帝王ハ國家ヲ統治スル爲ニ立法
 議院ヲ設立シ以テ法律ヲ制定セシムルモノナリ今日英國民ガ
 參政權ヲ以テ權理トスルハ是レ憲法即チ主權者ノ命令ニ依テ
 得タルノ權理ナリ然ルニ右ノ如ク歴史上ヨリ觀察スルトキハ
 議院ニ參スルノ權理ヲ與ヘタルハ全ク英皇ノ意ニ出タルヲ明
 カナレバ之ヲ褫クモ亦其權内ニ在リト謂ハザルベカラズ故ニ
 議院ハ英皇ノ命令ニ依テ存立スルモノナリト斷定セザルベカ
 ラズ

(三)帝王ハ正理ノ源泉ナリトハ不文憲法ニ由リ司法ノ權ハ帝王ヨリ涌出シタルハ明瞭ナリトス其意ヲ詳カニ述レバ凡ソ英國ノ司法ノ權力ヲ有スルモノハミナ之ヲ皇帝ヨリ授カリタルモノニシテ皇帝ハ司法權ノ源即チ法權ノ委託本人ナリ他ノ之ヲ有スル者ハ此委託者ナリ委託ヲ受ケタル者ナリト謂フニ在リ若シ帝王ニシテ主權者ニ非ズハ帝王ハ何故ニ司法權力ヲ他人ヨリ褫取リ他ノ人ニ托スル等ノ事ヲ爲シ得ルヤ

(四)英皇ハ行政長官ナリ而シテ許多ノ官吏ハ悉皆皇帝ノ任用シ給フ所ナリ是即チ英人自由ヲ貴重スル者ナルモ主權者ハ行政權ヲ固有スル者ニシテ之ヲ他ニ委託スルコトヲ得ルモ決シテ之ヲ失フ者ニ非ザルコトヲ認メタル者ニアラズヤ而シテ米國トハ事カハリ英國ニテ主權者ガ自カラ行政權ヲ行ヒ給フ所以ハ行政ハ一人ガ之ヲ司ルチ最モ便利ナリトス共和國ニハ主權者多人数ヨリ成立ツガ故ニ主權者自ラ之ヲ行フコト能ハズ故ニ大統

領ノ職ヲ置ク英國ニハ皇帝ナル主權者ハ一人ナルガ故ニ敢テ之ヲ他ニ托シテ行ハシムルヲ要セズ是ニ由テ觀ルトキハ英皇ガ司法行政ノ權ヲ固有スル者タルコトハ爭フベカラザルノ事實ナリ而シテ此二權ヲ固有スルガ故ニ之ヲ何人ニテモ其好ム所ニ委託スルチ得ベシ是即チ其主權ヲ有スルチ證スルニ足ルヘキナリ

(五)法律制定ノ權ニ至リテハ皇帝其幾分ヲ割テ兩議院ニ與ヘ自ラ其幾分ヲ有シ此三個相合シテ制法ニ從事ス蓋シ法律ハ土地ノ慣習人民ノ氣風ヲ熟察シ之ニ適合スルモノヲ制定セサレバ實用ヲ爲サハルノミナラズ却テ弊害ヲ醸スコト往々コレアリ故ニ法律ハ必ズ人民ノ希望ニ副フテ制定アルベシ然カセンニハ人民ニ參政權ヲ與フベシト云フニ由リ制法權ハ議院及ビ皇帝ノ分掌スルコトハ定マレルナリ故ニ英皇ハ茲ニ二個ノ資格ヲ有セラル即チ一ハ主權者タルノ資格二ハ立法者タルノ資格是

ナリ議院ガ制法權ヲ有スルハ皇帝ノ委托ヲ受ケタルナリ皇帝
ノ制法權ハ主權者固有ノ權ナリ皇帝議院同意スレバ制法ニ關
スルノ事ハ爲シ能ハザルコトナシ之ヲ稱シテ國會ノ萬能力トハ
云フナリ彼レ記者ハブラツクストーソン氏ガ英國會ハ萬能力ヲ
有スルトイヘルヲ見テ是英國會ハ無限ノ權力アリト臆斷セシ
ハ僻事ナリ蓋シ彼レ記者ハ立法權ハ行政司法ノ上ニ在ルコト
知ルモ未ダ主權ノ立法權ノ上ニ在ルコトヲ知ラズ加之立法權
ガ行政權ノ上ニ在リトイフハ立法權ヲ以テ行政ヲ掌ル人ヲ左
右スルヲ得ルト云フニ非ズシテ行政權ハ立法官ガ制定シタル
法ニ毫モ嘴ヲ容ル、コト能ハズ其命ノマ、コト之ヲ施行セザルベ
カラズト云フニ在ルコトヲモ知ラザルモノ、如シ是ニ山ヲ觀レ
バ彼レ記者ガ法律制定權ヲ以テ主權ト同一視スルノ過源ハ一
ハ以テ制法權ノ上ニ主權アルヲ知ラズ一ハ以テ行政權ノ制法
權ノ下ニ在ルノ真意ヲ知ラザルニ胚胎ス彼レ記者ニシテ早ク

此過源ヲ覺ラバ必ズ好シク奇怪ノ言ヲ爲シテ嗷々呻々シ拙ヲ
天下ニ公示スルコトヲ爲サトリシハ余輩ガ信シテ疑ハザル所ナ

主權論大尾

正誤

- 第十二 一七行 目我ノ下 闕字
- 第十六 四行 目(別ト)ノ下 (其説)チ脱ス
- 第二十 一行 目(君權)ハ (君主)
- 第二十六 八行 目(酋有)ハ (專有)
- 第三十八 十一行 目(傳)ハ (傳)
- 第三十一 七行 目(跌)ハ (跌)
- 第三十二 四行 目(僕子等)ノ下 (百)チ脱ス
- 第三十三 四行 目(辛酋)ハ (辛酋)
- 第三十四 四行 目(民權説)ハ (民約説)
- 第三十七 六行 目(一國王)ハ (國王)
- 第四十七 十行 目(感覺)ハ (感覺)
- 第五十七 九行 目(不羈)ハ (不羈)
- 第五十九 九行 目(「スチャペン」)ハ (「スチャーペン」)
- 第六十 五行 目(云ク)ノ下 (「)チ脱ス
- 第六十八 十二行 目(唯カ)ハ (誰カ)
- 第九十二 五行 目(謂フ)ハ (謂フ)
- 同 六行 目(皇權)ハ (主權)

明治十六年一月廿七日御届
同 年二月十日 出版

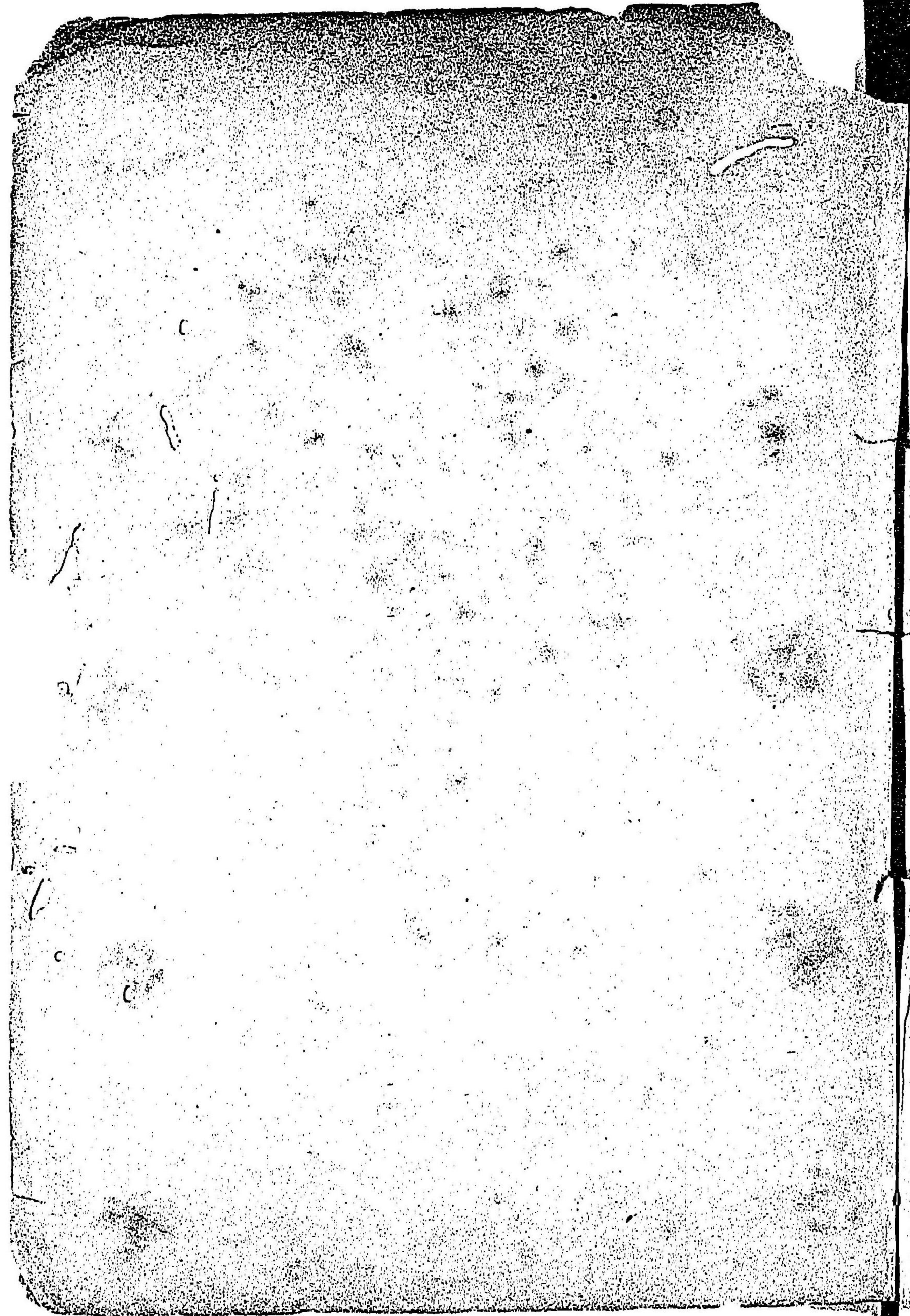
定價卅五錢

編輯兼出版人

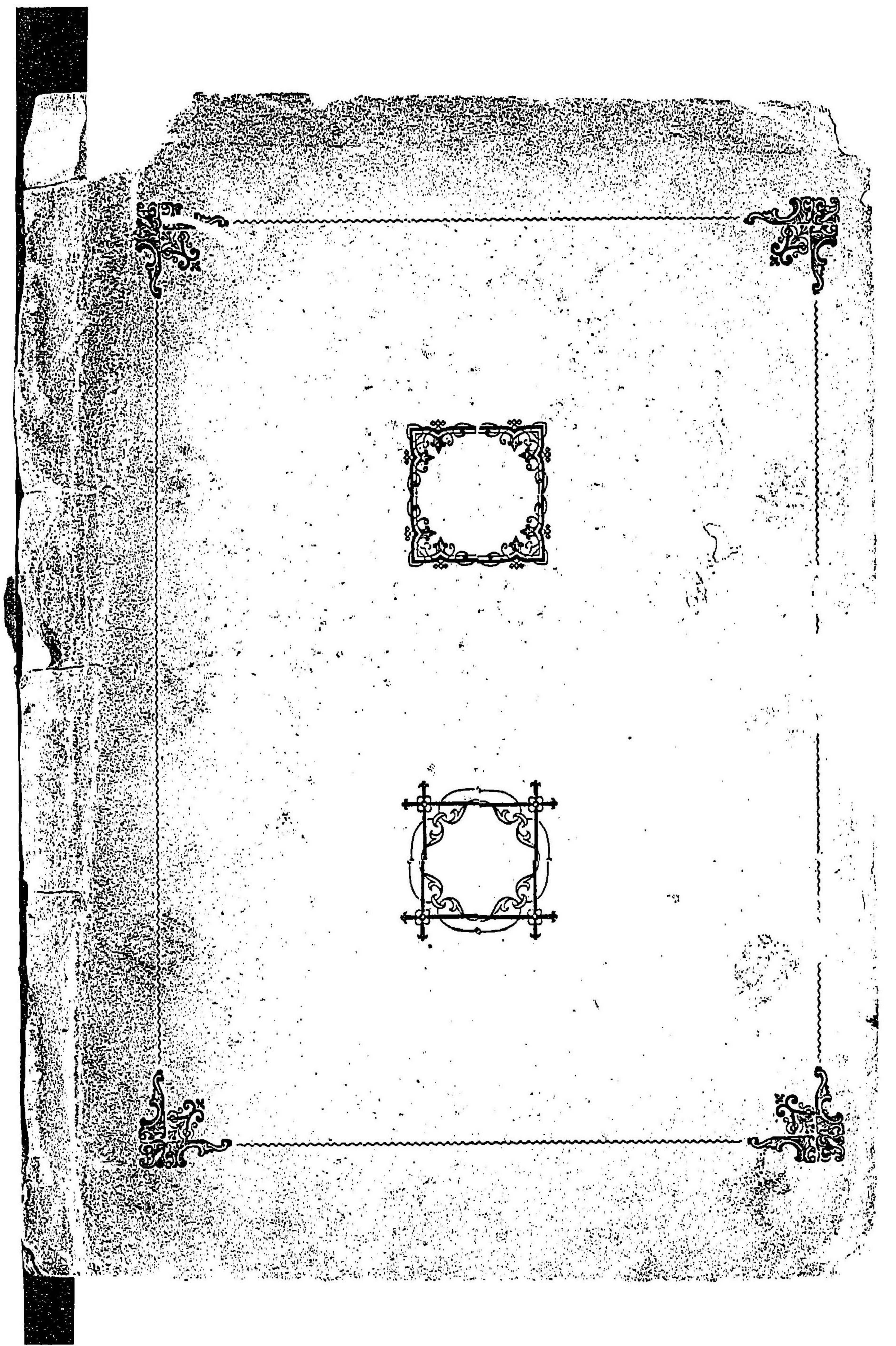
岡山縣士族

野村景造

岡山區弓之町五番邸



Handwritten text in vertical columns, likely in Chinese characters, visible on the right page of the manuscript. The text is arranged in several columns, with some characters appearing to be part of a title or a list. The right page is framed by a double-line border. The text is written in a traditional style, and the ink is dark. The overall appearance is that of an old, well-used document.



特 14
21

主
權
論

野村景造編

館 書 圖 京 東	
函 七 四	門 新
架 九	部 十
號	類

031585-000-8

特14-21

主權論

野村 景造 / 編

M16

BBE-0206

